

さいたま市
大宮盆栽美術館
年報

第16号



令和 7(2025)年度

さいたま市
大宮盆栽美術館

さいたま市
大宮盆栽美術館
年報

第16号

令和 7(2025) 年度



目 次

I 概 要

1 設立の経緯	1
2 方 針	1
3 沿 革	1
4 組 織	2
5 さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会	3
6 さいたま市盆栽資料等選考評価委員会	3
7 施 設	4
8 展示室	5
(1) コレクションギャラリー	5
(2) 企画展示室	6
(3) 盆栽庭園	6
9 さいたま国際盆栽アカデミー実習場・培養場	7
10 コレクションガイド（館内検索システム）	7
11 映像コーナー	8
12 情報コーナー	8
13 ウェブサイト	8
14 盆美eガイド	9

II 展覧会事業

1 通常展	10
(1) 【季節の展示】盆栽展〈四季〉	10
(2) 【歴史と文化】盆栽クロニクル—年代記—	13
2 企画展・特別展	14
(1) 大宮盆栽村 100 周年記念企画展 第 34 回 作家展（日本盆栽作家協会）	14
(2) さつき盆栽展	15
(3) 山水涼景～水石の世界	16
(4) 夏休み子どもぼんさい美術館	17
(5) 盆石の流れ～伝書をたどる	18
(6) 大宮盆栽村 100 周年記念特別展—緑のフロンティア—大宮盆栽村 100 年—	19

III 普及事業

1 定例講座	22
(1) 子ども向けワークショップ—はじめての盆栽づくり	22
(2) 盆栽実技	23
(3) ギャラリートーク	23
2 特別講座	24
(1) 夏休みワークショップ—こけ玉盆栽づくり	24
(2) 出張講座等	24
3 学校連携	25

(1) 学校見学	25
(2) 出張盆栽授業	26
(3) 埼玉県立浦和北高等学校・越谷西高等学校 盆栽作品展	26
(4) 第3回さいたま市立土呂中学校・第2学年美術科授業選抜作品展覧会「万才・溢彩・BONSAI」	27
(5) 職場体験、研修等の受入れ	27
4 イベント	28
(1) 館内実施事業	28
(2) 館外実施事業	28
5 ミュージアム・サポーターの活動	29
IV 大宮盆栽村 100 周年記念事業	30
1 「大宮盆栽村開村 100 周年記念シンポジウム」大宮盆栽展示	30
2 大宮盆栽村 100 周年記念「大宮盆栽村かるた」	30
3 大宮盆栽村 100 周年記念ロビーコンサート	31
4 夜間特別開館ライトアップ「BONSAI CANVAS」	31
V さいたま国際盆栽アカデミー	32
VI 国際交流	34
1 米国立盆栽・盆景園との姉妹館交流	34
2 オーストラリア首都特別地域政府立キャンベラ樹木園との姉妹館交流	34
3 その他の交流	34
VII 調査研究および社会貢献活動	34
1 執筆・寄稿・講師・出演	34
2 社会貢献活動	34
VIII 資料	35
1 購入資料	35
2 寄贈資料	35
3 収蔵資料利用	35
4 収蔵資料件数	36
5 図書寄贈者一覧	36
IX 広報活動	37
1 ミュージアムレター「ジンシャリ」	37
2 公式 SNS の運用	37
3 主な広報実績	38
X ミュージアムグッズ	38
XI 入館者数等	39
1 入館者数	39
2 展覧会別入館者数（企画展・特別展）	39
3 外国人入館者数	40
4 施設利用	40
XII 条例・規則	40

I 概 要

1 設立の経緯

盆栽は、今日では日本が世界に誇るものとして、多くの人びとに親しまれている伝統文化である。大正12年（1923）の関東大震災を契機として誕生した、さいたま市北区内の「大宮盆栽村」は、日本屈指の盆栽園が集まる地域として、国内はもとより世界各国の盆栽愛好家の間でその名が知られている。

この貴重な地域資源である盆栽文化の振興・活用を図るため、さいたま市誕生以前の旧大宮市では、盆栽村地区及びその周辺一帯を文化・歴史・観光の拠点として整備する「盆栽公苑構想」を策定し、埼玉県との共同事業である「国際大宮盆栽会館（仮）」の整備を中心に、推進が図られた。平成13年にさいたま市となってからも、事業を継続し、埼玉県との共同事業によって、「盆栽公苑構想」の再構築を図り、平成17年3月、「さいたま市盆栽文化振興・活用基本構想」を策定した。

ここでは、盆栽文化の振興・活用を目的として、個性豊かな生活文化活動の推進、緑あふれるまちづくり、個性あふれる、愛着の持てるふるさとづくり、盆栽に関する産業の振興などを掲げた。また、盆栽文化の普及と活性化という振興戦略及び盆栽をテーマとした地域の活性化という活用戦略を設定し、その実現に向けた連携の仕組みとして、盆栽文化ネットワークを構築することとした。

このような視点のもと、平成18年度にさいたま市盆栽関連施設等基本計画を策定、平成19年度に旧高木コレクションの盆栽100点を含む資料523点を一括して購入した。大宮盆栽美術館は、こうした資料の調査研究、情報発信等を行うための拠点施設として整備されることになり、平成20年（2008）10月着工、平成22年（2010）3月28日、総合的な盆栽文化を発信する世界で初めての公立の「盆栽美術館」として開館した。

2 方 針

盆栽を中心として、盆器、水石、絵画資料、歴史・民俗資料などの紹介により、さいたま市の伝統産業にも指定されている盆栽の文化を、ひろく内外に発信することを目的に活動する。

活動の柱として、以下の3つの方針を掲げる。

1 盆栽に関わる研究センター

盆栽の歴史や意義を、多様な観点から研究してわかりやすく公開し、講座、講演会などの普及事業を開催する。

2 さいたま市の新しい観光拠点

盆栽のすばらしさに気軽に触れられる、さいたま市の新たな観光拠点を目指す。

3 盆栽産業活性化の一助

多くの方が盆栽に親しむきっかけをつくることで、伝統産業の活性化をはかる。

3 沿 革

平成18年(2006) 3月	文化芸術振興計画の策定（盆栽関連施設等事業を推進）
平成19年(2007) 3月	盆栽関連施設等整備基本計画の策定
平成19年(2007) 7月	埼玉県と盆栽関連施設に係る協定書の締結
平成19年(2007) 9月	埼玉県と土地無償賃貸契約の締結
平成20年(2008) 2月	旧高木コレクション（523点）購入
平成20年(2008) 4月	文化施設建設準備室設置
平成20年(2008) 10月	建設工事着工
平成21年(2009) 4月	大宮盆栽美術館開設準備委員会設置
平成21年(2009) 6月	さいたま市大宮盆栽美術館条例制定
平成21年(2009) 10月	文化施設建設準備室大宮盆栽美術館開設準備担当配置
平成22年(2010) 1月	大宮盆栽美術館竣工

平成22年(2010) 3月	さいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則制定
平成22年(2010) 3月	さいたま市大宮盆栽美術館開館
平成24年(2012) 1月	音声ガイド導入(同年4月から英語、中国語、韓国語を加えた4カ国語対応)
平成25年(2013) 4月	さいたま市大宮盆栽美術館ボランティア解説員設置
平成25年(2013) 7月	公式 Facebook 開設、運用
平成26年(2014) 4月	さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会規則施行・設置
平成27年(2015) 3月	英語版ページを拡充した改訂版公式ウェブサイト運用
平成27年(2015) 4月	さいたま市盆栽資料等選考評価委員会条例施行・設置
平成28年(2016) 2月	国際盆栽シンポジウム開催(2月11日、よみうり大手町ホール)
平成29年(2017) 3月	アカデミー実習場・培養場竣工
平成29年(2017) 3月	盆栽庭園垣根修繕、庭園南側植栽部撤去・懸崖台設置
平成29年(2017) 4月	第8回世界盆栽大会 in さいたま開催 サブ会場
平成29年(2017) 5月	さいたま国際盆栽アカデミー開講
平成29年(2017) 11月	累計来館者数 50 万人到達
平成29年(2017) 12月	公式 Instagram 開設、運用
平成30年(2018) 10月	無料英語ガイド「Welcome Monday」開始
平成31年(2019) 3月	盆栽庭園内ウッドデッキ設置
令和元年(2019) 8月	米国立盆栽・盆景園(米国農務省国立樹木園内)との姉妹館提携締結
令和2年(2020) 3月	中国語(簡・繁)及び韓国語版ページを拡充した改訂版公式ウェブサイト運用 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月2日から5月28日まで臨時休館
令和3年(2021) 3月	スマートフォンを利用したコレクションガイド「盆美eガイド」導入 撮影可能エリアを庭園全域及び企画展示室に拡大
令和5年(2023) 4月	既存のボランティア組織とさいたま国際盆栽アカデミー「中級修了者の会」を統合し、新たなボランティア組織として「さいたま市大宮盆栽美術館ミュージアム・サポーター」を設置
令和5年(2023) 11月	オーストラリア首都特別地域政府立キャンベラ樹木園との姉妹館提携締結
令和6年(2024) 8月	空調設備故障のため、8月9日から8月23日まで臨時休館
令和6年(2024) 11月	盆栽庭園の池の改修のため、11月5日から令和7年3月20日まで臨時休館
令和7年(2025) 4月	大宮盆栽村の開村 100 周年を記念し、「大宮盆栽村 100 周年記念事業」を実施

4 組 織

さいたま市
スポーツ文化局

局 長 石塚 正歳

文化部

理事兼部長 川田 泰則

大宮盆栽美術館

館 長	清水 一郎 (非常勤)
参事兼副館長	海津 麻子
副 参 事	松野 進
管理係	
係 長	山川麻衣子
主 査	荒井 光弘
主 査(兼任)	成田 剛
主 査(兼任)	金田 智之
主 査(兼任)	丸山 翔平
主 事	元木亜衣子
主 事	森田 大翔
国際交流員	スカーレット メーガン
事業係	
主幹兼係長	田口 文哉(学芸員)
主 査	菅原 千華(学芸員)
主 査	中村 慎太(盆栽技師)
主 査	中村 麗理
主 任	小棚 明生(盆栽技師)
主 任	立石 見雪

(令和8年3月31日付)

5 さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会

さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会規則に基づき、大宮盆栽美術館の適正な運営をはかるため、基本的な運営事項について審議し助言を得るために設置された。

(1) さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会名簿（10名）

	氏 名	備 考
委員長	小 島 孝 夫	成城大学 文芸学部 教授
副委員長	大和田 昌 宏	(公社)さいたま観光国際協会 事務局次長
委 員	池 田 伸 子	埼玉県立歴史と民俗の博物館 学芸主幹
委 員	砂 生 敏 一	(株)埼玉新聞社 編集局長
委 員	杉 山 正 司	國學院大學 非常勤講師
委 員	関 根 良 和	埼玉県産業労働部 観光課長
委 員	高 嶋 修 一	青山学院大学 経済学部 教授
委 員	谷 中 智恵子	ぼんさい遊々 監事（盆栽普及活動家）
委 員	三 輪 史	東日本旅客鉄道(株) 大宮支社 地域共創部 地域連携ユニット ユニットリーダー
委 員	森 紀与子	盆栽愛好家

(令和8年3月31日現在)

※委員以下五十音順

(2) 開催状況

	期 日	場 所
第1回	令和7年8月5日(火)	大宮盆栽美術館講座室
第2回	令和8年1月29日(木)	大宮盆栽美術館講座室

6 さいたま市盆栽資料等選考評価委員会

さいたま市盆栽資料等選考評価委員会条例に基づき、盆栽資料等の収集を適正に行うため、さいたま市の諮問に応じ、資料の選考及び評価を行うために設置された。

(1) さいたま市盆栽資料等選考評価委員会（4名）

	氏 名	備 考
委員長	平 野 恵	台東区立中央図書館 郷土・資料調査室 専門員
委 員	池 田 伸 子	埼玉県立歴史と民俗の博物館 学芸主幹 (現・埼玉県立自然の博物館 副館長兼首席学芸主幹)
委 員	黒 須 輝 夫	公益財団法人陶芸文化振興財団 理事長
委 員	竹 山 浩	一般社団法人日本盆栽協会 元顧問

任期 令和8年3月12日から令和10年3月11日まで

※委員以下五十音順

(2) 開催状況

	期 日	場 所
第1回	令和8年3月12日(木)	大宮盆栽美術館講座室

平成 22 年 1 月

7 施 設

設 計 高橋設計株式会社

建設工事

(1) 建物概要

所 在 地 さいたま市北区土呂町
2丁目24番地3
敷地面積 6,335.07 m²
延床面積 1,497.58 m²
構 造 鉄筋コンクリート造
(地下1階、地上2階)

建築・外構工事 佐伯・スミダ建設特定
共同企業体
機械設備工事 富士管工株式会社
電気設備工事 旭電気工業株式会社
展示設計・製作 株式会社丹青社

(4) 収蔵庫概要

面 積：収蔵庫 1 183.12 m²
収蔵庫 2 43.15 m²

空 調：

収蔵庫 1 自然循環型、独立型除湿機設置
収蔵庫 2 フィルターを通して循環
除湿および加湿機を設置

*室内に温湿度記録計を設置

温湿度設定 22℃ ± 2、55% ± 5

警備設備：カード感知式および鍵式施錠

火災報知：自動火災報知設備

消火設備：収蔵庫 1 ABC 粉末消火器

収蔵庫 2 ハロン化物消火設備

(2) 主要施設

1 階：ロビー、ミュージアムショップ、映像
コーナー、コレクションギャラリー、企
画展示室、盆栽庭園、盆栽工房、事務室、
応接室

2 階：講座室、盆栽テラス

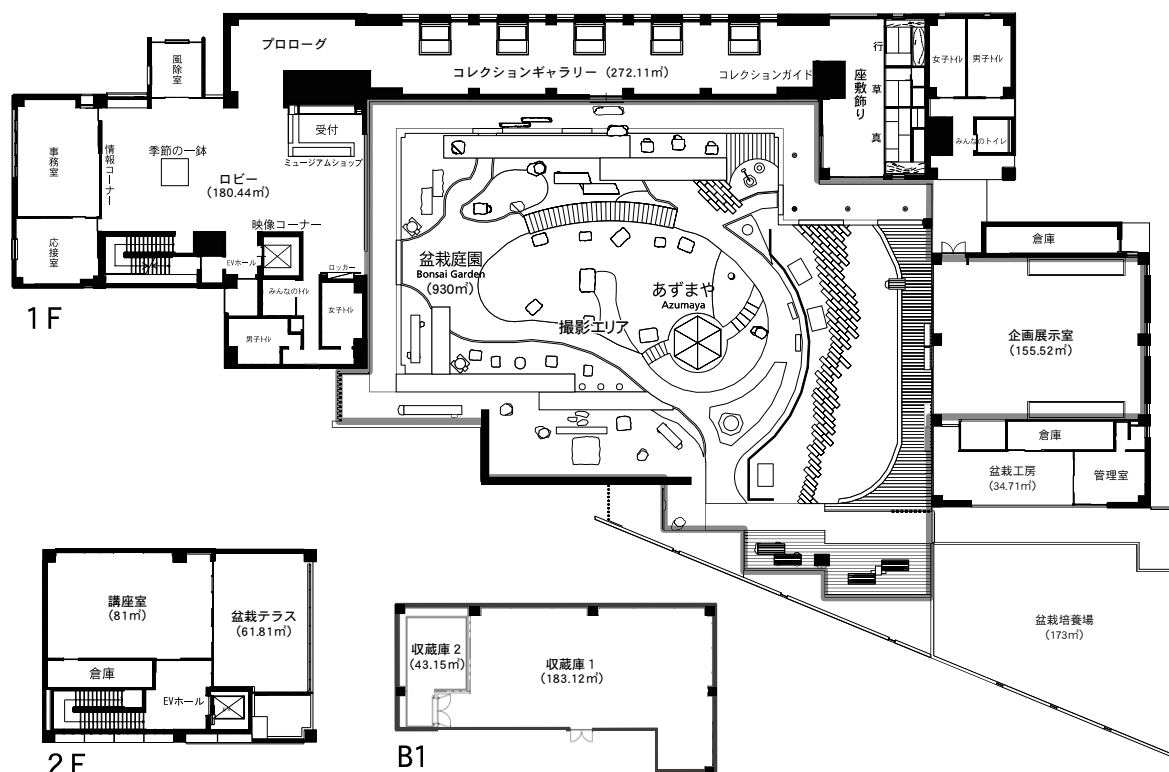
地階：収蔵庫

(3) 整備事業費

建 設 費 1,034,050,500 円

展示設計・展示製作 90,078,450 円

工 期 平成 20 年 10 月～



8 展示室

(1) コレクションギャラリー

当館のコレクションギャラリーは、プロローグ、ギャラリー、座敷飾りという、三つの空間で構成されており、主に通常展示を行う展示空間となっている。

プロローグでは、壁面パネルによって所蔵する盆栽をはじめ、盆器、水石、絵画、歴史・民俗資料を紹介し、続いて「盆栽を見るために」として、盆栽の鑑賞方法の基本を解説している。



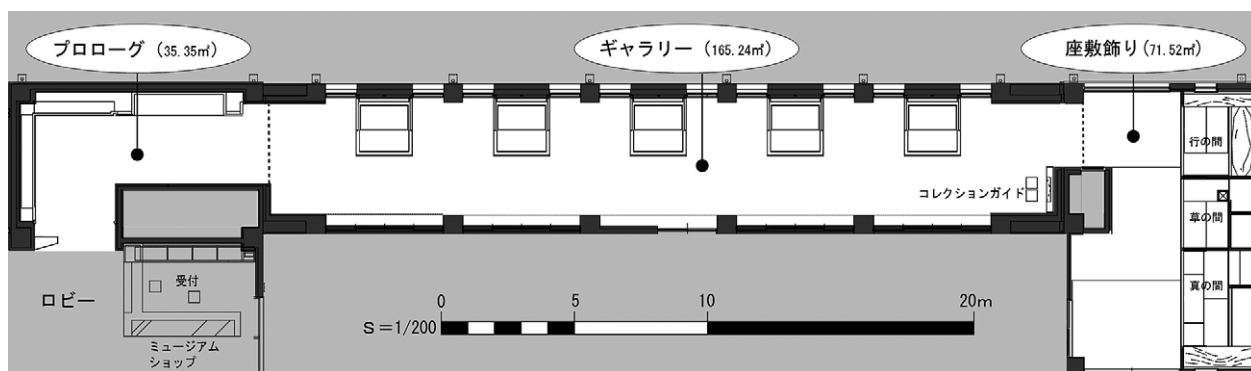
プロローグ



ギャラリー（プロローグ側より）

ギャラリーは、廊下状の空間に5台の専用展示台を設置し、盆栽用の室内展示空間としている。また、このギャラリーにはコレクションガイドが設置されている。

座敷飾りは、土間から一段高く作った、和室風の展示空間である。三つの座敷を横に並べた構造をとっており、それぞれ建材等を変えることで、真、行、草の様式の変化が判る構造としている。



コレクションギャラリー平面図

(2) 企画展示室

企画展示室は、盆栽以外の資料等による展示会場となる。

面 積：155.52 m²

天井高：3.7m

設 備：

壁付きケース（エアタイト式） 1 基

壁付きケース（自然循環式） 1 基

のぞき型可動式ケース（エアタイト式） 4 台

外寸 D. 900 × W. 1800 × H. 1050 mm

行灯型可動式ケース（自然循環式） 3 台

外寸 D. 900 × W. 900 × H. 2050 mm

可動壁 H. 3350 × W. 1250 mm 32 枚

空 調：

ロスナイ換気あるいは自然循環(24時間空調)

独立型除湿機設置、ケース内に調湿剤を併用

＊室内およびケース内に温湿度記録計を設置

温湿度設定 20℃ ± 5、55% ± 5

警備設備：

開館時 警備員による巡視、監視カメラ設置

閉館時 機械警備（赤外線検知式）

火災報知：自動火災報知設備

消火設備：ABC 粉末消火器

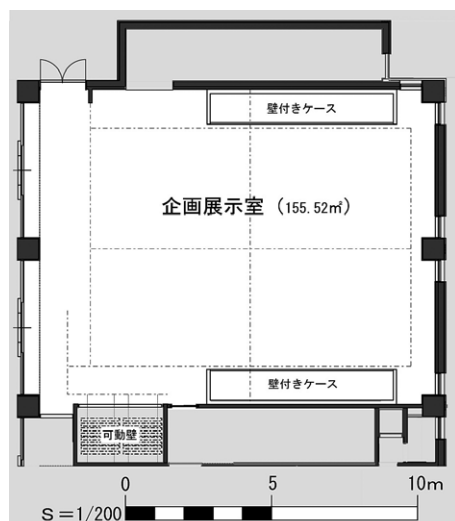
照明設備：照明器具

・LEDスポットライト（調光不可） 10 台

・ハロゲンスポットライト（調光不可） 30 台

・蛍光灯（UV カットタイプ・調光可） 8 基

直射日光：外光遮断幕とUVカットフィルムを併用



企画展示室平面図

(3) 盆栽庭園

盆栽庭園は、日本庭園の様式を取り入れた回遊式の常設展示場である。夏季の日射を抑制するため、庭園東側及び南側一帯には寒冷紗を設置できる。

【沿革】

平成24年7月

庭園中央部に池を造成。

平成29年3月

庭園東側に設定していた撮影エリアと庭園境界部の垣根及び撮影エリアの結界を新調。また、庭園中央から南側の植栽を撤去し、固定式懸崖台及び可動式展示台を設置。展示点数 50 点から 60 点に拡大。

平成30年2月

撮影エリアを南側のデッキ部分まで拡大。

平成31年3月

庭園北側のつくばい部を整備し、ウッドデッキを新設。同ウッドデッキ及びあずまや内を撮影エリアとする。

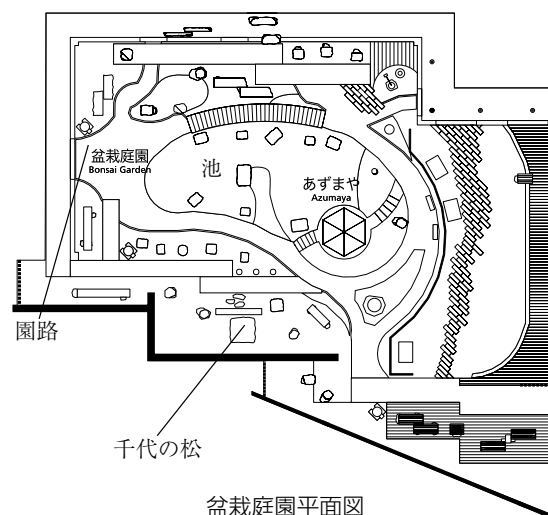
令和3年3月

撮影エリアを庭園全域に拡大。

令和7年3月

庭園中央の池を改修。あずまやの建つ築山まで池を拡張し、築山を利用して池の中央部に向けて低くなる四段の池を設けた。池周辺部には自然石を配し、谷へと水が下る山水の景を表現した。面積の大きな西端の池は水流を抑えて鏡面となるよう設計し、池中央の展示台上の盆栽を鏡写しとして鑑賞できる。

また、暑さ対策のため、池の周囲にミスト装置を設置した。



盆栽庭園平面図



盆栽庭園

9 さいたま国際盆栽アカデミー 実習場・培養場

さいたま国際盆栽アカデミーの教材の培養管理をする場所であり、一部の実技講座の際は、実際に作業をする場所として活用している。

森鷗外の息子である森於菟の旧邸があった土地であり、豊かな自然が、かつての別荘地の面影を残している。

所在地：さいたま市北区盆栽町 322 番地 2

敷地面積：1281.98 m²

竣工：平成 29 年 3 月



盆栽アカデミー実習場・培養場

10 コレクションガイド (館内検索システム)

当館の所蔵品である、盆栽および盆栽関連資料の情報や写真をアーカイブしている収蔵品データベースのうち、公開項目として登録した情報に一般来館者がアクセスできる端末（コレクションガ

イド）を設置している。

設置場所、台数

コレクションギャラリー、1 台

操作方法

タッチパネル式になっており、画面に表示されたボタン等のアイコンや写真等を指で触れてページの進行および後退、あるいは拡大縮小等进行操作する。

表示コンテンツ概要および内容細目

- 1 コレクション選択場面
 - 盆栽／盆栽以外の資料を選択
- 2 盆栽
 - 2-1 五葉松
 - 2-2 松、真柏等
 - 2-3 雑木の四季
- 3 盆栽以外の資料
 - 3-1 盆器
 - 3-2 卓
 - 3-3 水石
 - 3-4 絵画資料
 - 3-5 歴史・民俗資料

コレクションガイドに表示されるコンテンツは、当館の収蔵品データベースとリンクしている。収蔵品データベースのうち、公開情報として登録した資料および情報、写真がコレクションガイドから閲覧可能となる。



コレクションガイド

11 映像コーナー

盆栽文化への導入部として、無料空間であるロビーで以下の3本の映像を繰り返し放映している。3面マルチ大型画面の迫力と、簡単な英語を付しており、外国人にも人気が高いコーナーである。

- 1) 「盆栽 樹木と人の小宇宙」 2分9秒
- 2) 「盆栽の美 四季のうつろい」 2分2秒
- 3) 「歴史編」 3分14秒



映像コーナー

12 情報コーナー

ロビー内に観光情報を案内するコーナーとして設置した。埼玉県とさいたま市の主な観光施設を地図パネルとし、また観光パンフレットを置き、来館者が手軽に観光情報を知ることができるスペースである。

また、インフォメーションガイドとして、「大宮盆栽美術館からのお知らせ」、「盆栽関連のお知らせ」、「盆栽園情報」、「さいたま市イベント情報」をロビーに設けられた2台のディスプレイに掲示している。表示項目はイベント名、開催期間、開催場所、案内文（180字以内）と、画像である。



情報コーナー

13 ウェブサイト

施設案内、コレクション、盆栽についてなどの基本情報を掲載しているページについては、日本語、英語（以上、開設時から）、中国語（簡体字、繁体字）、韓国・朝鮮語（以上、令和2年3月から）の4言語5通りからなるウェブサイトとしている。

令和5年3月には一部の改修を行い、トップページに各種ページとリンクした「イベントカレンダー」ページを追加して閲覧の利便性を向上させ、ニュースレター「ジンシャリ」（45号）の大幅改定に合わせて、ウェブ版「ジンシャリ」ページを追加し、デジタル化の向上を図った。

サイトマップ

- トップページ
- ニュース
- 展覧会
- ワークショップ／イベント
- お知らせ
- ジンシャリ ※改訂
- 休館日カレンダー
- イベントカレンダー ※新規

施設のご案内

- ごあいさつ
- 館全体図・館内のご案内・サービス

コレクション

- 盆栽
- 盆器
- 水石
- 卓
- 絵画資料等
- 歴史・民俗資料

盆栽について

- 盆栽の見方
- 樹種と形態
- 盆栽の技
- 大宮盆栽村について
- さいたま国際盆栽アカデミー
- 目的・カリキュラム

- 修了者の活動紹介
- 新着情報
- 国際交流
 - 盆栽関連施設・機関との提携
 - 関連事業
 - 多言語対応
 - データで見る国際交流
- アクセス・ご利用案内
- リンク
- お問い合わせ

14 盆美eガイド

来館者の多くが所有するスマートフォンにより、展示品の解説を閲覧、視聴することのできるコレクションガイド「盆美eガイド」を導入した。

本ガイドに掲載される情報は、当館ホームページの収蔵品紹介ページ「コレクション」に紐づけられており、スマートフォンのブラウザ用に設計された専用ページにおいて、各コレクション情報（資料の情報及び写真）を閲覧できるものである。

また、従来から導入していた有料貸出形式のガイド端末「音声ガイド」に内蔵されていた各コレクションの音声解説データを搭載しており、資料情報の閲覧のみではなく、音声解説を聴取することもできる（資料番号 A-001～A-107 の盆栽のみ）。

使用に際して、利用者は「盆美eガイド」に接続後、館内掲示の資料キャプションに記載された資料番号（アルファベット1文字+資料番号3桁）を入力するだけで資料情報を閲覧することができる。

このような簡易的な操作方法とともに、特別なアプリケーションを必要としないことから、利用者の負担を軽減することが可能であり、運用上においては「コレクション」の更新内容が同期されるため、更新作業の合理化も図られている。

運用開始日

令和3年3月12日（金）

対応 OS

iOS 及び Android

対応言語

日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国・朝鮮語

利用方法

- ・館内に掲示した QR コード又は URL から「盆美eガイド」に接続する。
- URL：https://www.bonsai-art-museum.jp/ja/eguide/
- ・館内掲示の資料キャプションに記載された資料番号を入力する。

利用について

- ・ロビー、ギャラリー、座敷飾りで音声データを聞く場合は、イヤホンの利用を必須とする。



検索画面

資料画面の一例

Ⅱ 展覧会事業

1 通常展

当館の通常展（※令和2年度まで「常設展示」と称したが、展示の実状を反映して「通常展」と呼び変えた。）は、屋内のコレクションギャラリー及び屋外の盆栽庭園における盆栽を主とした展示、並びに企画展示室における盆栽の歴史・文化に関するパネル展示により構成されている。

令和3年度から、ギャラリー及び庭園における盆栽の展示を「【季節の展示】盆栽展〈四季〉」と称し、企画展示室における盆栽の歴史・文化に関する展示を「【歴史と文化】盆栽クロニクル－年代記－」と呼び、それぞれ通常展として開催した。

(1) 【季節の展示】盆栽展〈四季〉

コレクションギャラリーには、5台の専用ステージを設置し、続く座敷飾りの3室、また、ロビーの「季節の一鉢」を合わせ、全9席の盆栽等を常時展示し、盆栽については育成面を考慮して1週間ごとに展示替えを実施している。

盆栽庭園では、常時約60点の盆栽を展示して

おり、見ごろの季節や育成上の観点から、随時盆栽を移動している。

本展示では、四季折々に美しい姿へと変化する盆栽の魅力を多くの来館者に伝えるため、以下のようにひと月ごとに小テーマを設定して季節感を打ち出し、それぞれの時季に見ごろを迎える盆栽を選んで展示することで、「生きる芸術」と呼ばれる盆栽ならではの見どころを紹介した。

4月	芽吹き季節	10月	爽秋の風
5月	新緑の誘い	11月	深まる色
6月	枝先のしずく	12月	寒樹の美
7月	こぼれる陽光	1月	緑を寿ぐ
8月	緑陰の涼	2月	凛と咲く
9月	秋空を背に	3月	花告げる春

昨年度に引き続き、季節感を重視した当館所蔵品をはじめ、大宮盆栽村の各盆栽園が所蔵する見ごろを迎える盆栽の借用や、未公開作品の展示、多彩な掛幅との取り合わせによる席飾りの趣向に工夫を凝らし、毎週新たな設えで来館者を迎えられるよう展示内容の充実に努めた。

また、第14週の展示では、（一社）日本盆栽協会との共催により、同協会が認定・登録する「貴重盆栽」を紹介する特別展示「貴重盆栽展」を開催した。

出品作品一覧（ギャラリー・座敷飾り）

週	期 間	季節の一鉢	ギャラリー1	ギャラリー2	ギャラリー3	ギャラリー4	ギャラリー5	真の間	行の間	草の間
1	4月25日(金) 4月30日(水)	羽団扇楓と三ツ手岩傘の寄せ植え D-007 紫檀平卓	A-129 山もみじ(青枝垂れ) D-055 紫檀算木卓	C-037 富士川瀧石 B-089 呂均釉 楕円水盤 D-070 紫檀長方天拝卓	A-134 檜 D-029 天然彫高卓	B-154 染付龍山水文六角鉢 D-059 真塗二段卓	八重紅花山査子 D-098 正方高卓 添え ナチアワモリシヨウマ	A-020 黒松「岩松庵」 D-061 花梨幕板付中卓 E-072 足立泰道「松風」 脇床 テイカカズラ	A-114 樺 D-067 樺算木長方卓 E-033 今尾景年「臘月」	御柳 D-081 紫檀地板
2	5月1日(木) 5月7日(水)	風知草 D-062 斑竹天紫檀中卓	A-122 いわしで D-055 紫檀算木卓	C-037 富士川瀧石 B-089 呂均釉 楕円水盤 D-070 紫檀長方天拝卓	A-130 五葉松 D-004 紫檀竹節平卓 19-171 長板	B-154 染付龍山水文六角鉢 D-059 真塗二段卓	小葉の薔葉 19-179 平卓	A-017 五葉松「うず潮」 D-051 潤山写天拝卓 E-119 狩野栄信「雲龍図」 脇床 テイカカズラ	A-046 山もみじ D-044 紫檀喉付机卓 E-075 福本積應「薫風自南来」	斑入り定家かずら D-065 正方高卓
3	5月9日(金) 5月14日(水)	「世界盆栽の日」2025 記念特別展示 さつき 一般社団法人 日本盆栽協会	唐子木楓 九霞園 D-070 紫檀長方天拝卓	C-027 馬淵川石 D-062 斑竹天紫檀中卓	黒松 D-040 紫檀平卓 添え セキショウとユキノシタ寄せ植え	B-003 青磁陰刻唐草文丸鉢 D-059 真塗二段卓	A-121 日本鎌柄 D-001 紫檀飾付輪花高卓 添え フイリユキノシタ	A-089 杉 D-048 紫檀大平卓 E-076 秋吉則州「萬里一条鉄」 脇床 チョウジュバイとシロバナツツナミソウ寄せ植え	A-086 いちよう D-027 花梨中卓 E-097 作者不詳「日日は好日」	枝垂れモミジ D-033 斑竹網代平卓

4	5月16日(金) 5月21日(水)	五葉松とコケモモ・梨の寄せ植え D-031 天然彫平卓	岩がらみ D-076 紫檀卓	C-027 馬淵川石 D-062 斑竹天紫檀中卓	A-124 真柏 D-073 紫檀中卓 添え セキショウ	B-003 青磁陰刻唐草文丸鉢 D-059 真塗二段卓	小真弓 D-065 正方高卓	A-106 黒松 D-053 紫檀幕板付机卓 E-078 秋吉則州「平常心是道」脇床 アワモリショウマとキンミズヒキ寄せ植え	A-014 楓「早春の譜」 D-048 紫檀大平卓 水盤 白釉楕円水盤 E-178 森村宜穂「蝙蝠新月図」	アメリカ葛 D-075 紫檀高卓
5	6月6日(金) 6月11日(水)	花菖蒲 19-175 花梨平巻卓	A-114 樺 D-067 樺算木長方卓	B-171 瑠璃釉群鶴亀甲文長方水盤 D-041 中透中卓	A-126 真柏 D-073 紫檀中卓 添え ナチアワモリショウマ	C-007 紫貴船石 B-298 蕎麦釉楕円水盤 19-179 平卓	錦糸南天(織姫) D-081 紫檀地板	A-016 五葉松「明光」 D-054 紫檀幕板付机卓 E-176 平櫛田中「青山流水太悠々」脇床 フイリセキショウ	A-129 山もみじ(青枝垂れ) D-055 紫檀算木卓 E-050 望月玉成「時鳥」	羽団扇楓とミツデイワガサ(寄せ植え) D-007 紫檀平卓
6	6月13日(金) 6月18日(水)	風知草 D-062 斑竹天紫檀中卓	A-120 いわしで D-070 紫檀長方天拝卓 添え アサギリソウとコガネシダ寄せ植え	B-171 瑠璃釉群鶴亀甲文長方水盤 D-041 中透中卓	A-061 五葉松 D-021 斑竹天花梨透付机卓 B-317 斑紫銅己透文楕円水盤	C-007 紫貴船石 B-298 蕎麦釉楕円水盤 19-179 平卓	櫛 D-022 斑竹天花梨算木中卓	A-115 真柏 D-060 紫檀大平卓 脇床 チョウジュバイ	C-044 好間川石 D-004 紫檀竹節平卓 E-070 孤峰智鑒「行到水窮処」付書院 ノバラとホソバノギク寄せ植え	山もみじ D-097 高卓
7	6月20日(金) 6月25日(水)	夏藤 D-075 紫檀高卓	A-095 もみじ(獅子頭) D-067 樺算木長方卓	B-158-159 染付牡丹唐草文丸鉢 19-173 喉付蔵文机卓	A-127 檜 19-177 紫檀平卓	C-030 加茂川石「蜀山道」 B-303 瑠璃釉長方水盤 D-027 花梨中卓	斑入り定家かずら D-065 正方高卓	A-070 黒松 D-060 紫檀大平卓 E-072 足立泰道「松風」脇床 ヤクシマハギ	C-044 好間川石 D-004 紫檀竹節平卓 E-070 孤峰智鑒「行到水窮処」付書院 ショタイソウ	ぶな D-007 紫檀平卓
8	6月27日(金) 7月2日(水)	花筏 D-007 紫檀平卓	赤しで九霞園 19-175 花梨平巻卓	B-158-159 染付牡丹唐草文丸鉢 19-173 喉付蔵文机卓	A-090 五葉松 19-177 紫檀平卓 19-171 長板	C-030 加茂川石「蜀山道」 B-303 瑠璃釉長方水盤 D-027 花梨中卓	赤松文人地板 アサギリソウとコガネシダの寄せ植え	A-028 津山檜 D-061 花梨幕付中卓 E-078 秋吉則州「平常心是道」脇床 セキショウ	C-036 佐治川石「桃花源記」 B-317 斑紫銅己透文楕円水盤 D-053 紫檀幕板付机卓 E-033 今尾景年「臘月」付書院 チョウジュバイ	山香ばし、りんどう、野菊、河原撫子 寄せ植え D-081 紫檀地板
9	7月4日(金) 7月9日(水)	吊花 D-014 紫檀細工古鏡型中卓	A-048 樺 D-055 紫檀算木卓	C-001 水石 B-303 瑠璃釉長方水盤 D-027 花梨中卓	A-069 黒松 D-012 天然彫高卓	B-169 瑠璃釉染付群鶴波濤文丸鉢 19-173 喉付蔵文机卓	夏藤 D-075 紫檀高卓 添え C-059 佐治川石	A-022 真柏「北斎」 D-061 花梨幕板付中卓 脇床 セキショウとユキノシタ 付書院 C-030 加茂川石「蜀山道」	C-036 佐治川石「桃花源記」 B-317 斑紫銅己透文楕円水盤 D-053 紫檀幕板付机卓 E-033 今尾景年「臘月」付書院 ショタイソウ	黄金孟宗竹 19-175 花梨平巻卓 E-177 西澤笛畝「蛙と魚の玩具図」
10	7月11日(金) 7月16日(水)	櫛 D-022 斑竹天花梨算木中卓	A-129 山もみじ(青枝垂れ) D-055 紫檀算木卓	C-001 水石 B-303 瑠璃釉長方水盤 D-027 花梨中卓	五葉松とコケモモ・梨の寄せ植え D-054 紫檀幕板付机卓	B-169 瑠璃釉染付群鶴波濤文丸鉢 19-173 喉付蔵文机卓	小真弓 D-065 正方高卓	A-024 真柏 D-061 花梨幕板付中卓 E-082 秋吉則州「青山緑水」脇床 ヤクシマハギ	C-036 佐治川石「桃花源記」 B-317 斑紫銅己透文楕円水盤 D-053 紫檀幕板付机卓 E-178 森村宜穂「蝙蝠新月図」付書院 ヒトツバショウマ	白鷺カヤヅリ草と黒髪花石菖、姫ギボウシの寄せ植え D-033 斑竹網代平卓
11	8月29日(金) 9月3日(水)	紫式部寄せ植え D-034 花梨甲玉透中卓	椿(出雲大社) D-097 高卓 添え ヤクシマイトススキとナンバンギセルの寄せ植え	B-166 瑠璃釉唐獅子牡丹文石台 D-059 真塗二段卓	A-126 真柏 D-073 紫檀中卓 添え セキショウ	C-002 鞍馬糸掛石 B-298 蕎麦釉楕円水盤 D-041 中透中卓	西洋鎌柄 D-022 斑竹天花梨算木中卓	A-028 津山檜 D-061 花梨幕板付中卓 E-076 秋吉則州「萬里一条鉄」脇床 ヤマモミジとヒメフウチソウとアサギリソウの寄せ植え	C-063 加茂川石 D-004 紫檀竹節平卓 E-082 秋吉則州「青山緑水」付書院 ベニフウチソウ	斑入り定家かずら D-065 正方高卓
12	9月19日(金) 9月24日(水)	吊花 D-014 紫檀細工古鏡型中卓	A-129 山もみじ(青枝垂れ) D-055 花梨平巻卓	B-023-024 五彩草虫図大隅入正方鉢 D-054 紫檀幕板付机卓	A-134 檜 D-029 天然彫高卓	C-011 加茂川石 B-298 蕎麦釉楕円水盤 D-041 中透中卓	櫛 D-022 斑竹天花梨算木中卓	A-020 黒松「岩松庵」 D-061 花梨幕板付中卓 E-083 秋吉則州「松樹千年翠」脇床 フイリセキショウ	A-114 樺 D-067 樺算木長方卓 E-033 今尾景年「臘月」	紫式部寄せ植え D-034 花梨甲玉透中卓
13	9月26日(金) 10月1日(水)	真弓 D-065 正方高卓	A-095 もみじ(獅子頭) D-067 樺算木長方卓	B-023-024 五彩草虫図大隅入正方鉢 19-177 紫檀平卓	A-038 五葉松 D-004 紫檀竹節平卓	C-011 加茂川石 B-298 蕎麦釉楕円水盤 D-041 中透中卓	小真弓 D-097 高卓	A-116 杜松 D-054 紫檀幕板付机卓 E-078 秋吉則州「平常心是道」脇床 ヒメタデ	A-046 山もみじ D-044 紫檀喉付机卓 E-069 金山穆留「好尚古人心」	山香ばし、りんどう、野菊等寄せ植え D-081 紫檀地板
日本盆栽協会特別展示「貴重盆栽展」(一般社団法人日本盆栽協会共催)										
14	12月12日(金) 12月17日(水)	真柏「夢」 Alexander Smuzikov	黒松 三澤一彦	唐楓「高雅」 大川功	五葉松 大柿清	唐楓 添え タマリユウ、ヤブコウジ、コガネシダの寄せ植え 山本泰詩	真柏 久保俊昭	真柏「青龍」 脇床棚 六角堂型香炉付書院 丹波紫雲石竹蓋雅幸	黒松「厳龍」 掛軸 青木香玲「日の出」 添え コガネシダ 小西丈治	真柏「難思光」 脇 ヒトツバ 原田司
15	12月19日(金) 12月24日(水)	津山檜 菱青園	A-095 もみじ(獅子頭) D-074 紫檀幕板付机卓	長寿梅 D-074 紫檀猫足中卓 添え セキショウ	A-116 杜松 D-044 紫檀喉付机卓	椿(ユーレイタド) D-065 正方高卓 添え オカメナンテンとセキショウの寄せ植え	赤松 D-083 花梨地板 添え 舟(鉄製)	A-043 五葉松 D-053 紫檀幕板付机卓 E-072 足立泰道「松風」脇床 テイカカズラ	A-085 姫しゃら 19-177 紫檀平卓 E-087 月徳「三賢人」 添え ヤダケ	錦糸南天 D-028 仙果付天然彫地板
16	12月26日(金) 12月28日(日)	椿(ユーレイタド) D-065 正方高卓	A-077 山もみじ D-041 中透中卓 添え スナゴケ	B-200-201 赤絵金銀彩鳳凰文丸鉢 19-173 喉付蔵文机卓	黒松 D-040 紫檀平卓 添え オカメナンテンとセキショウの寄せ植え	C-065 鞍馬石「宝船」 D-071 樺下板付長方変わり卓	緋梅 D-074 紫檀猫足中卓 添え セキショウ	A-031 五葉松 D-004 紫檀竹節平卓 E-066 小野竹喬「朝日」脇床 セキショウ	A-128 八重寒紅梅 D-018 紫檀算木机卓 E-098 西山観空「香潔」	雪柳 19-175 花梨平巻卓

17	1月4日(日) 1月7日(水)	椿(ユーレタ イ) D-065 正方高卓	A-077 山もみじ D-041 中透中卓 添え スナゴケ	B-200-201 赤 絵金銀彩鳳凰 文丸鉢 19-173 喉付蔵文机卓	黒松 D-040 紫檀平卓 添え オカメナ ンテンとセキシ ョウの寄せ植え	C-065 鞍馬石「宝船」 D-071 樺下板付 長方変わり卓	緋梅 D-074 紫檀猫足中卓 添え セキシ ョウ	A-031 五葉松 D-004 紫檀竹節平卓 E-066 小野竹喬「朝日」 脇床 セキシ ョウ	A-128 八重寒紅梅 D-018 紫檀算木机卓 E-098 西山観空「香潔」	雪柳 19-175 花梨平巻卓
18	1月9日(金) 1月14日(水)	A-128 八重寒紅梅 19-179 平卓	A-048 樺 D-055 紫檀算木卓	B-200-201 赤 絵金銀彩鳳凰 文丸鉢 19-173 喉付蔵文机卓	A-036 五葉松 D-054 紫檀幕 板付机卓	C-065 鞍馬石「宝船」 D-071 樺下板付 長方変わり卓	長寿梅 D-074 紫檀猫足中卓 添え セキシ ョウ	A-089 杉 D-048 紫檀大平卓 E-078 秋吉則州「平常心は道」 脇床 フイリセキシ ョウ	A-081 緋梅 D-067 樺算木長方卓 E-080 秋吉則州「無事は貴人」 付書院 リュウノヒゲ	椿(港の曙) D-083 花梨地板 E-064 作者不詳「元禄 美人糸繰り」
19	1月16日(金) 1月21日(水)	梅(守の関) D-076 紫檀卓	A-127 檜 19-177 紫檀平卓	C-057 安部川 石「春近」 D-041 中透中卓	野梅 芙蓉園 添え テルナミ	B-178 色絵鳳凰文丸鉢 19-173 喉付蔵文机卓	椿(初雁) D-028 仙果付 天然彫地板 添え 埼玉県 立大宮工業高 等学校生徒作 品	A-020 黒松「岩松庵」 D-061 花梨幕板付中卓 E-083 秋吉則州「松樹千年翠」 脇床 埼玉県立大宮工 業高等学校生徒作品 付書院 埼玉県立大宮 工業高等学校生徒作品	A-099 野梅 19-176 花梨飾付高卓 E-117 高森碎巖「羅浮春夢」 付書院 埼玉県立大宮 工業高等学校生徒作品	錦糸雨天(織 姫) D-081 紫檀地板 脇床 埼玉県 立大宮工業高 等学校生徒作 品
20	1月23日(金) 1月28日(水)	椿(初雁) D-028 仙果付天然 彫地板	A-126 真柏 D-073 紫檀中卓 添え 梅(月 影)	C-057 安部川 石「春近」 D-041 中透中卓	A-081 緋梅 D-067 樺算木長方卓	B-178 色絵鳳凰文丸鉢 19-173 喉付蔵文机卓	雪柳 19-175 花梨平巻卓	A-016 五葉松「明光」 D-054 紫檀幕板付机卓 E-083 秋吉則州「松樹千年翠」 脇床 テイカカズラ	A-080 野梅 19-177 紫檀平卓 E-098 西山観空「香潔」 付書院 セキレイ	小葉の髄葉 19-179 平卓 E-177 西澤笛 畝「天神人形 図」
21	1月30日(金) 2月4日(水)	A-099 野梅 19-176 花 梨飾付高卓	椿(港の曙) D-034 花梨甲 玉透中卓 添え シンノウ、 ユキノシタとク サはか寄せ植え	C-035 瀬田川石 D-027 花梨中卓	A-130 五葉松 D-004 紫檀竹節平卓 19-171 長板	B-099 紫泥花鳥 文長方鉢 19-173 紫檀平卓	山香ばし D-099 天然彫地板	A-024 真柏 D-061 花梨幕板付中卓 E-067 中原鄧州「白雲 断処家山妙」 脇床 フイリセキシ ョウ	A-086 いちよう D-054 紫檀幕板付机卓 E-097 作者不詳「日日は好日」 付書院 アカマツとサオ トメの寄せ植え	長寿梅 D-074 紫檀猫足中卓
22	2月6日(金) 2月11日(水)	A-079 梅 (思いのま ま) 19-173 喉 付蔵文机卓	A-124 真柏 D-073 紫檀中卓 添え バイカオウ レン	C-062 梓川雪溪石 D-051 潤山写天拝卓	小葉の髄葉 19-179 平卓	B-099 紫泥花鳥 文長方鉢 19-177 紫檀平卓	斑入り定家かず ら D-065 正方高卓	A-008 赤松「帰去来」 D-031 天然彫平卓 脇床 ニシバツコケモモ、 アクシノバ、ゴゼンチバナ、 ヒメケラマシダ、セキシ ョウの寄せ植え 付書院 C-024 佐治川 石「蕭山」	A-014 楓「早春の譜」 D-067 樺算木長方机卓 19-191 長板 E-069 金山穆韻「好尚古人心」 付書院 セキレイ	石化しのぶ D-080 紫檀斑 竹貼正方高卓 E-177 西澤笛 畝「玩具図」
23	2月13日(金) 2月18日(水)	おかめ桜 19-179 平卓	A-134 檜 D-029 天然彫高卓	C-062 梓川雪溪石 D-051 潤山写天拝卓	A-064 黒松 D-054 紫檀幕 板付机卓	B-099 紫泥花鳥 文長方鉢 19-177 紫檀平卓	椿(出雲大社) D-097 高卓 添え マンネン グサ	A-040 五葉松 D-044 紫檀喉付机卓 E-072 足立泰道「松風」 脇床 クマザサ	A-110 もみじ(清玄) D-004 紫檀竹節平卓 E-087 月櫻「三賢人」	定家かずら D-075 紫檀高卓
24	2月20日(金) 2月25日(水)	A-101 花梨	おかめ桜 19-179 平卓 添え 舟(鉄 製)	B-140 白泥花鳥図鉢 D-040 紫檀平卓	A-090 五葉松 19-177 紫檀平卓 19-171 長板	C-060 瀬田川石 D-059 真塗二段卓	A-095 もみじ(獅子頭) D-067 樺算木長方卓	A-030 五葉松「千尋」 D-044 紫檀喉付机卓 脇床 C-015 只見川石 「磐梯山」 付書院 フクジュソウ	A-084 山椿 19-176 花梨飾付高卓 E-080 秋吉則州「無事は貴人」 添え セキシ ョウとユキノ シタの寄せ植え	ぶな D-081 紫檀地板 E-177 西澤笛 畝「撫牛」
25	2月27日(金) 3月4日(水)	A-098 寒桜	椿(玉之浦) D-056 紫檀輪 花型高卓 添え フイリマン ネングサ	B-140 白泥花鳥図鉢 D-040 紫檀平卓	A-025 真柏 D-006 玉壺天然彫 添え C-059 佐治川岩溜り石	C-060 瀬田川石 D-059 真塗二段卓	岩からみ D-064 紫檀丸高卓 添え セキシ ョウとユキノ シタ寄 せ植え	A-019 五葉松「双鶴」 D-004 紫檀竹節平卓 E-174 山田宗敏「青松多寿色」 脇床 クマザサとチョウ ジュバイの寄せ植え	A-046 山もみじ 19-177 紫檀平卓 E-097 作者不詳「日日は好日」 付書院 フクジュソウ	土佐水木 D-026 天然彫地板 E-177 西澤笛 畝「雛図」
26	3月6日(金) 3月11日(水)	A-054 寒くみ	A-063 五葉松 D-054 紫檀幕付机卓	B-030-031 粉 彩花卉文丸鉢 19-173 喉付蔵文机卓	雪柳(瓦付き) 19-175 花梨平巻卓 添え 斑入りマ ンネングサ	C-049 水石「神仙境」 D-041 中透中卓	A-048 樺 D-055 紫檀算木卓	A-115 真柏 D-060 紫檀大平卓 脇床 チョウジュバイ 付書院 C-030 加茂川 石「蜀山道」	A-113 寒桜 D-004 紫檀竹節平卓 E-033 今尾景年「臘月」 付書院 セキシ ョウとユキノ シタの寄せ植え	三ツ手岩傘 門倉平巻 E-064 作者不 詳「元禄美人糸 繰り」
27	3月13日(金) 3月18日(水)	山茱萸 (芙蓉園)	縮緬かずら 添え スズメノヤ リとコガネシダ、 ユキノシタ寄せ 植え (芙蓉園)	B-030-031 粉 彩花卉文丸鉢 19-173 喉付蔵文机卓	宮様楓 (九霞園)	C-049 水石「神仙境」 D-041 中透中卓	五葉松 (芙蓉園)	真柏 E-067 中原鄧州「白雲 断処家山妙」 脇床 タカサゴサイシ ン(芙蓉園)	楓 添え タンチョウソウ (芙蓉園)	檜 添え サツキ (早乙女)とタン チョウソウ寄せ 植え (藤樹園)
28	3月20日(金) 3月25日(水)	五葉松(株 立ち) 藤樹園	真柏(半懸崖) 添え ユキヤナ ギ 藤樹園	長寿梅 添え セキシ ョウとユキノシ タの寄 せ植え D-074 紫檀猫足中卓	黒松 添え サオトメツ ツジ、チョウジュ バイ、ムラサキシ キブ、ヒノキの寄 せ植え 藤樹園	紫式部 添え クロマツ、タ ンチョウソウ 藤樹園	五葉松 藤樹園	黒松(模様木) 脇床 チョウジュバイ 藤樹園 E-083 秋吉則州「松樹千年翠」	A-110 もみじ(清玄) D-004 紫檀竹節平卓 E-081 君山尚湖「鶯啼揚柳風」	椿(出雲大社) D-097 高卓
29	3月27日(金) 4月1日(水)	A-045 もみ じ(獅子頭) D-004 紫 檀竹節平卓	枝垂れ桜 D-002 紫檀飾 付丸高卓	C-061 瀬田川石 銘 「武蔵野」 19-177 紫檀平卓	A-116 杜松 D-044 紫檀喉付机卓	B-219 色絵山水 花鳥図八角鉢 19-173 喉付蔵文机卓	椿(出雲大社) D-097 高卓 添え セキシ ョウ	A-027 杉 D-048 紫檀大平卓 E-076 秋吉則州「萬里一条鉄」 脇床 タンチョウソウ	A-014 楓「早春の譜」 D-050 黒檀七宝透机卓 水盤 白釉梅円水盤 E-033 今尾景年「臘月」	小葉の髄葉 19-179 平卓 E-177 西澤笛 畝「玩具 図」

(2) 【歴史と文化】盆栽クロニクル—年代記—

本展は、古代中国からはじまり、昭和初年の大宮盆栽村の誕生、そして平成元年の第1回世界盆栽大会の開催に至るまでの盆栽の歴史を紹介する常設のパネル展示である。

パネルのレイアウトは編年体により、各年代の

項目を視覚的に区切りつつ、パネル自体は会場の壁面を一周する造作とした。歴史の一連の流れの中で、盆栽の移り変わりを一覧できるような展示デザインである。

以上のパネル展示を常設化した上で、会場中央部のスペースにおいて、以下の一覧のとおり盆栽以外の収蔵資料の展示を行った。

出品資料一覧

No	資料番号	作者・著編者・発行所	資料名	制作年	形状・点数
「浮世絵の版元・葛屋重三郎と葛屋吉蔵」3月21日(金)～4月23日(水)					
1	E-022	三代歌川豊国	おぼの六三、粧坂ノかしく、松越十右衛門	弘化4年～嘉永5年(1847～1852)	大判錦絵2枚続
2	E-111	三代歌川豊国	名妓三十六佳撰 花扇の話	文久元年(1861)1月	大判錦絵・1点
3	E-112	三代歌川豊国	名妓三十六佳撰 瀧川	文久元年(1861)12月	大判錦絵・1点
4	E-167	三代歌川豊国	源氏絵(松の鉢植)	弘化4年～嘉永5年(1847～1852)	大判錦絵3枚続
5	B-147	宜興窯(中国江蘇省宜興市)	桃花泥長方鉢	中国・清時代(19世紀)	外縁長方・1点
6	B-160	有田焼(佐賀県有田町)	染付七宝文丸鉢	明治時代(1868～1912)	外縁丸・1点
「盆栽美術展のさきがけ」3月21日(金)～5月1日(木)					
7	F-100	田口旭松	『美術盆栽図』	明治25年(1892)	典籍・3冊
8	F-078	木曾庄七	『盆栽瓶花聚楽会図録』	明治36年(1903)12月30日	典籍・2冊
4月25日(金)～5月28日(水)					
9	B-045	伝留佩(中国)	白交趾褐斑長方鉢	中国・清時代	長方・1点
10	B-156	有田焼(佐賀県有田町)	染付花唐草文丸鉢	20世紀	脚付き丸・1点
11	E-145	歌川国久、歌川広重、三代歌川豊国	江戸乃花 名勝会	慶應元年(1865)1月	大判錦絵・1点
12	E-150	三代歌川豊国	其姿紫の写絵 廿一	弘化4年～嘉永5年(1847～1852)	大判錦絵・1点
13	E-143	楊洲周延	あつま美人 浅草公園噴水	明治37年(1904)	大判錦絵3枚続
14	参考	堤吉兵衛	浅草公園大噴水之光景	明治44年(1911)	石版・1点
15	参考	-	絵葉書 浅草公園噴水	大正時代(1912～1925)	絵葉書・1点
「江戸時代の園芸「奇品」趣味」5月2日(金)～5月28日(水)					
16	F-004	水野忠暁、大岡雲峰・関根雲停(画)	『草木錦葉集』	明治13年(1880)(初版:文政12年(1829))	典籍・2冊
17	F-139	猪飼定次郎、森田幸三郎(校閲)	『絵入万年青培養法』	明治16年(1883)	典籍・2冊
18	F-005	篠常五郎	『万年青培養秘録』	明治18年(1885)4月	典籍・1点
19	-	加藤留吉	万年青名鑑	明治28年(1895)1月	一枚刷り・1枚
5月30日(金)～7月2日(水)					
20	B-139	川石山人(中国)	白泥山水図長方鉢	中国・制作年代不詳	長方・1点
21	B-170	瀬戸焼(愛知県瀬戸市)	染付朝顔文丸鉢	明治時代	外縁丸・1点
22	E-009	三代歌川豊国	与三郎一代咄シ おとみ住家	安政4年(1857)6月	大判錦絵2枚続
23	E-105	歌川国貞	(洗濯する女)	文化12・天保13年(1815-1842)頃	大判錦絵・1点
24	E-129	小国政	当世風俗花の咲分	明治28年(1895)	大判錦絵3枚続
25	E-136	楊洲周延	東風俗 福つし HUKURIN ふくりん	明治時代	大判錦絵・1点
「盆栽村のルーツ・団子坂」5月30日(金)～7月2日(水)					
26	F-122	団子坂葵園松葉	造り菊	幕末頃	引札・1枚
27	F-124	団子坂下植木屋浅五郎	造菊大人形	明治22年(1889)	引札・1枚
28	F-126	薫風園光三郎	造菊大廻掛	明治22年(1889)	引札・1枚
29	F-128	植重	菊細工生人形大道具 廻り舞台せり出し	明治34年(1901)	引札・1枚
30	F-057	盆栽同好会	『盆栽雅報』7号	明治39年(1906)11月10日	典籍・1冊
31	-	盆栽同好会	『盆栽雅報』83号	大正2年(1913)3月10日	典籍・1冊
令和8年1月4日(日)～2月18日(水)					
32	B-167	瀬戸焼(現愛知県瀬戸市)	瑠璃釉竹に福良雀文丸鉢	明治時代(1867-1911)	外縁丸・1点
33	B-108	宜興窯(中国)	烏泥山水文楕円鉢	中国・清時代	外縁楕円・1点
34	E-017	歌川国芳	めでたいづゑ まけてもらいたい	初刷り嘉永5年(1852)12月	大判錦絵・1点
35	E-108	月岡芳年	風俗三十二相 かいたさう 嘉永年間おかみさんの風俗	明治21年(1888)	大判錦絵・1点
「国風盆栽展開催までのあゆみ」令和8年1月4日(日)～2月18日(水)					
36	F-100	田口旭松	『美術盆栽図』	明治25年(1892)	典籍・3冊
37	-	小林憲雄(発行人)	『第三回盆栽展写真帖』	昭和6年(1931)1月1日	典籍・1冊
38	-	小林憲雄(編著)	『国風盆栽展全写真帖』	昭和9年(1934)5月5日	典籍・1冊
39	-	小林憲雄(編著・発行人)	『第二回国風盆栽展写真帖』	昭和10年(1935)1月1日	典籍・1冊
40	-	小林憲雄(編著・発行人)	『第三回国風盆栽展写真帖』	昭和10年(1935)5月5日	典籍・1冊
41	-	小林憲雄(発行人)	『第四回国風盆栽展覧会写真帖』	昭和11年(1936)1月1日	典籍・1冊
42	-	小林憲雄(発行人)	『第五回国風盆栽展覧会写真帖』	昭和11年(1936)6月1日	典籍・1冊
2月20日(金)～3月18日(水)					
43	B-146	製作地不詳(中国)	桃花泥夔鳳文長方鉢	製作年不詳	外縁長方・1点
44	B-341	瀬戸焼(現愛知県瀬戸市)	ルス貼付雲龍文大植木鉢	江戸時代後期	外縁丸・1点
45	E-138	二代喜多川歌麿	(梅と福寿草の寄せ植え)	江戸時代後期(19世紀)	中判摺物・1点
46	E-140	喜多川歌麿	遊君七小町 扇屋花扇 よしの たつた	江戸時代後期(19世紀)	大判錦絵・1点
「本草書と江戸園芸」2月20日(金)～3月18日(水)					
47	F-137	小野蘭山(口述)・小野職孝(録)・井口望之(校訂)	『重訂本草綱目啓蒙』	弘化4年(1847)9月	典籍・6冊(20冊中)
48	F-138	井口望之(編集)	『本草綱目啓蒙図譜』	嘉永3年(1850)3月	典籍・4冊

2 企画展・特別展

コレクションギャラリー及び企画展示室における借用品や共催による展示、また、盆栽に関連する美術作品や歴史資料を用いたテーマ性のある展示を、開催規模により企画展又は特別展として開催している。

令和7年度は、以下に挙げるとおり企画展5回、特別展1回を開催した。

(1) 大宮盆栽村 100 周年記念企画展 第 34 回 作家展（日本盆栽作家協会）

会 期：4月4日(金)～4月23日(水) 18日間

1 期 4 月 4 日～4 月 9 日

2 期 4 月 11 日～4 月 16 日

3 期 4 月 18 日～4 月 23 日

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館
一般社団法人日本盆栽作家協会

会 場：ロビー、コレクションギャラリー

出品席数：27 席（1 週 9 席）

関連事業：

企画展「第 34 回作家展」スライドトーク

日時：① 4 月 6 日（日）、② 4 月 19 日（土）
13:30～

会場：ロビー特設会場

講師：山田登美男

参加者数：① 22 人、② 48 人

印 刷 物：ポスター B1 判 3 枚、B2 判 90 枚
チラシ A4 判 3,700 枚

入館者数：5,212 人（290 人／1 日）

担 当：田口文哉

開催概要：

一般社団法人日本盆栽作家協会は、盆栽作家精神の高揚と研究・研鑽および盆栽作家の社会的地位の確立を目的として結成された協会である。当館では、同協会との共催により、平成 23 年度から毎年秋季に展覧会を開催してきた。

第 34 回展となる本展は、同協会の山田登美男会長（清香園園主）に協力いただき、当市の大宮盆栽村開村 100 周年記念事業のこけら落としとなる記念シンポジウム（於大宮門街）の開催日に合わせ、当館としても初めての記念事業として 4 月に会期を移して開催した。

出品物では、ロビーに特設の大型展示台を設え、大宮盆栽村に園を構える山田会長により、「100 年の歴史」をテーマとして、さいたま市を象徴する市木「欒」の盆栽 3 点の出品があった。清香園の

先代（三代）・釜次郎が作出した樹齢 180 年の大型、当代登美男氏作出の樹齢 100 年の中品、そして五代目の香織氏による樹齢 30 年の小品と、過去・現在・未来をつなぐ欒盆栽により、4 月に迎えた村の 100 周年を祝う展示としていただいた。

当館の盆栽管理官も務められた山田登美男氏は、令和 8 年 2 月 28 日に逝去されました。生前の多大なる御助力に深く感謝の意を表すとともに、謹んで御冥福をお祈りいたします。

出品作品一覧

1 期		
場所	名称	作者
ロビー	欒三点飾り	山田 登美男
ギャラリー1	真柏、添え：タンチョウソウ	増田 四郎
ギャラリー2	楓	安藤 芳広
ギャラリー3	檜	五十嵐 善巳
ギャラリー4	黒松、添え：フウチソウ	今吉 秀行
ギャラリー5	五葉松、添え：フウチソウ	上原 幹夫
真の間	山桜、軸：近衛家熙「一輪草」、付書院：酒器	山田 登美男
行の間	赤松、添え：シロカンボケ	松田 恭治
草の間	杜松、脇：佐治川遠山石	米沢 増雄
2 期		
場所	名称	作者
ロビー	欒三点飾り	山田 登美男
ギャラリー1	銀杏「時空」、台：石臼、添え：掛斐川石「忘却」（岡本太郎旧蔵）	神 康文
ギャラリー2	真柏	秋山 実
ギャラリー3	花梨、添え：シンパク	岩坪 敏和
ギャラリー4	真柏、添え：オウゴンフウチソウ	Hugo Zamora
ギャラリー5	飄草木、添え：観音（陶製）	高津 政之
真の間	皐月（大盆）、軸：幽翠「春光入寿盃」、付書院：沐雨作「うずら」（陶製）、脇床：タンチョウソウ	小林 國雄
行の間	黒松、軸：檜崎鉄香「旭日静波図」、付書院：タンチョウソウ	風間 雄一
草の間	皐月（真山）「三龍の舞」、脇：タンチョウソウ	豊里 友次
3 期		
場所	名称	作者
ロビー	欒	山田 登美男
ギャラリー1	赤松	福館 治
ギャラリー2	加茂川真黒石、水盤：青銅切立長方（原田峯雲造）	須藤 雨伯
ギャラリー3	野バラ、添え：ギボウシ	萩原 功子
ギャラリー4	杜松、添え：ヒトツバ	馬場 守一
ギャラリー5	真柏	野上 和義
真の間	五葉松、脇床：コケモモ・ミニシャクナゲ・チョウジュバヤ寄寄せ植え、掛軸：柳生紹尚「古今」	渡邊 貞慶
行の間	五葉松、添え：コケモモ・フジカケツツジ・バヤカツツジ・ヤツフサコメツガ寄せ植え	阿部 健一
草の間	真柏、添え：ヒトツバ	今井 千春



チラシ

スライドトーク

(2) さつき盆栽展

会 期：5月23日(金)～6月1日(日) 9日間
主 催：さいたま市大宮盆栽美術館、
協 力：磯部緑園
会 場：ロビー、コレクションギャラリー
出品席数：18席 (1週9席)
関連事業：

さつき盆栽デモンストレーション「花後の剪定」

日 時：6月1日(日)14:00～15:30

講 師：磯部繁男氏(磯部緑園)

参加者数：112人

印 刷 物：ポスター B1判2枚、B2判50枚
 チラシ A4判3,000枚

入館者数：2,396人(266人/1日)

担 当：田口文哉

開催概要：

本展は、見ごろを迎えるさつき盆栽を特集した
 展覧会である。平成24年度から継続的に実施し、
 コロナ禍における休止や規模縮小はあったが、本
 年度で11回目となる。

出品物は、引き続きさいたま市緑区のさつき盆
 栽園・磯部緑園から借用した。同園の磯部繁男氏
 は、プロのさつき盆栽家による展示会「皐樹展」
 における最高賞を最多受賞する第一人者であり、
 本展は磯部氏の定期的個展の性格も有している。

さつきの開花期としては比較的遅い時期の展覧
 会であるため、磯部氏による例年の難しい開花調
 整を経て、本展でも満開のさつきを展示するこ
 とができ、リピーターの多い本展への期待に応える
 ことができた。

また、会期最終日の定番となった公開デモン
 ストレーションでは、昨年度に引き続き磯部氏のほ
 か、ご子息(長男・次男)が共に作業に従事する
 進行となり、ロビーにおいて展示中の満開のさつ
 きを題材にして剪定技術が披露され、磯部氏の丁
 寧な解説もあって多くの観覧者を得た。

平成29年度からはじめた剪定芽を挿し芽とし
 て持ち帰っていただくサービスについて、前回ま
 での参加者が花を咲かせた状態で持ち寄ってくだ

さり、リピーターの方との再会もうれしい一幕で
 あった。生きる芸術だからこそその可能性ある試み
 を引き続き繋げていきたい。

出品作品一覧 ※さつきはすべて磯部緑園所蔵

5月23日(金)～5月28日(水)	
場所	品種名
ロビー	飛鳥錦
ギャラリー1	薫風
ギャラリー2	緋光琳 (添え) ヤクシマギボウシ
ギャラリー3	一生の春 (添え) 一生の春
ギャラリー4	寿光冠 (添え) タンチョウソウ
ギャラリー5	光琳 (添え) ギボウシ
真の間	若恵比須 (脇床) 珍山 (脇床棚) さくら (付書院) 日の丸
行の間	紅万重 (添え) シダ (付書院) 明美の月
草の間	桃香 (脇) 幸の司
5月30日(金)～6月1日(日)	
場所	品種名
ロビー	紫輝彩
ギャラリー1	薫風
ギャラリー2	赤薙 (添え) ヤクシマギボウシ
ギャラリー3	朱艶
ギャラリー4	若恵比須 (添え) タンチョウソウ
ギャラリー5	鹿山 (添え) ギボウシ
真の間	華賞 (脇床) 珍山 (脇床棚) ナチアワモリショウマ (付書院) 吾妻鏡
行の間	大盃 (添え) シダ (付書院) 博多白
草の間	玉織姫 (脇) 秀峰の光



チラシ



展示風景



デモンストレーション

(3) 山水涼景～水石の世界

会 期：7月18日(金)～8月27日(水) 36日間

前期 7月18日～8月6日

後期 8月8日～8月27日

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館

一般社団法人日本水石協会

会 場：ロビー、コレクションギャラリー

出品席数：18席（前後期9席ずつ）

関連事業：

ギャラリートーク

日 時：①7月19日(土)、②8月3日(日)

③8月16日(土) いずれも 13:30～

講 師：①加藤崇寿（日本水石協会）

②担当学芸員

③森前誠二（日本水石協会）

参加者数：①23人、②10人、③24人

印 刷 物：ポスター B1判3枚、B2判35枚

チラシ A4判2,500枚

入館者数：6,640人（184人／1日）

担 当：立石見雪、田口文哉

開催概要：

盆栽とともに歩んできた古い歴史を持つ「水石」の魅力を紹介する展覧会である。自然の石の形状に山や海辺の風景などを見出して鑑賞する水石は、長い歴史によって育まれた独自の美意識を持つ。小さな石の中に大自然を見出す姿勢は盆栽と共通するものである。

当館では毎年夏の時季に一般社団法人日本水石協会との共催で水石展を開催し、主に涼景を感じさせる山水景石や代表的な形状の作品を展示し、わかりやすく水石の世界を紹介してきた。

本年度は、水石界でも名の知られた名石や希少な水石が出品され、名工の手による涼やかな水盤、卓と取り合わせることで、先人たちが築いてきた水石文化の美意識に触れることができる席飾りとなった。

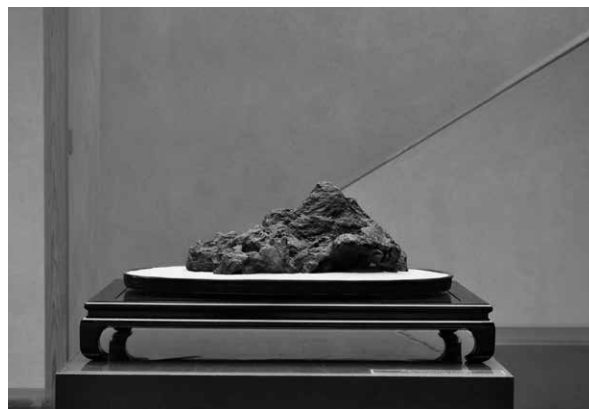
関連事業については、ギャラリートークを実施し、実際に展示品を見ながら解説することで、質感や肌合いといった水石ならではの味わいを参加者に伝えることができた。

出品作品一覧

前期 7月18日～8月6日		
場所	名称	所蔵者
ロビー	佐治川石「玄峰抱瑞雲」	大川功
ギャラリー1	鞍馬石	竹蓋雅幸
ギャラリー2	古谷石「蝸牛」	山本哲史
ギャラリー3	瀬田川真黒石	サミ・アムドゥニ
ギャラリー4	丹波紫雲石	竹蓋真弓
ギャラリー5	瀬田川石「霞烟巒峰」	クリストフ・クルーズ
真の間	佐渡赤玉五色石	大川博行
行の間	青神居古潭石	石内勉
草の間	根尾菊花石	大川昌子
後期 8月8日～8月27日		
場所	名称	所蔵者
ロビー	佐治川石「玄峰抱瑞雲」	大川功
ギャラリー1	貴船滝石「龍神の滝」	船山秋英
ギャラリー2	宇治川石、加茂川石	湯浅一徳
ギャラリー3	鞍馬石「瑞雲」	寺内幸夫
ギャラリー4	貴船石	野口博道
ギャラリー5	瀬田川石「泰山月光」	廣吉五三
真の間	丹波石「五色高原」	半田太
行の間	幸太郎石	本出小左衛門
草の間	瀬田川虎石「孤亭」	小林公一



ポスター



佐治川石 銘「玄峰抱瑞雲」

(4) 夏休み子どもぼんさい美術館

会 期: 7月19日(土)～8月31日(日)38日間

主 催: さいたま市大宮盆栽美術館

会 場: 企画展示室、講座室

出品点数: パネル 14 点 (B1)

盆栽玩具: 165 点 (25 種類)

展示構成:

- 1 盆栽ってなに?
- 2 いろいろな盆栽
- 3 盆栽のふしぎ
- 4 盆栽のむかしといま
- 5 盆栽をはじめてみよう
- 6 盆栽にさわってみよう

関連事業:

- 1 夏休みワークショップ—こけ玉盆栽づくり
- 2 「盆栽博士ちゃんを作る こけ玉盆栽」

日 時: 7月27日(土) 14:00～15:20

講 師: 清水ちえり氏

参加者数: 9 組 16 人

印刷物: ポスター B1 判 3 枚、B2 判 50 枚、

A3 判 4,276 枚

チラシ A4 判 2,200 枚

学習ノート 200 部

入館者数: 7,011 人 (185 人／1 日)

担 当: 中村麗理、菅原千華

開催概要:

小中学校の夏休み期間に、子ども向けに開催しているパネル形式の展覧会である。本展用に製作した「学習ノート」を希望者に配布し、パネルを参照してノートの質問に回答することで、盆栽の基本について学ぶことのできるプログラムである。学習ノートの問題に回答した小中学生への景品プレゼントと、さいたま市立漫画会館との連携を昨年度に引き続き行った。学習ノートの利用者数は 561 人であった。

展示品については、本展の目玉になりつつある「盆栽のおもちゃ」を新たに 5 種類 (13 点) 追加した。盆栽のおもちゃは、子どもや保護者を展覧会に惹きつける大きな役割を担うとともに、現代

の日本において、盆栽がどのような“広がり”を示しているのかを、視覚的に分かりやすく伝えるという意図もある。盆栽をめぐる社会の動向を把握する上で、今後も引き続き収集に努めていく予定である。

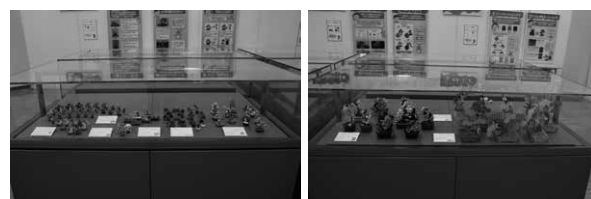
また、当館所蔵盆栽から選抜した 10 点の人気投票を行い、参加者数は 2045 人であった。

関連企画として、当館近隣の植竹小学校 2 年生による「盆栽新聞」を展示した。同校から提供を受けたもので、6 年生が育てている真柏の盆栽を観察して作成された新聞である。

関連事業について、夏休みワークショップは 24 頁に記載する。「盆栽博士ちゃんを作る こけ玉盆栽」では、「盆栽博士ちゃん」として活躍中の清水ちえり氏が、小中学生を対象に、長良川もみじのこけ玉盆栽作りの指導や盆栽クイズを行った。



ポスター



展示風景(盆栽のおもちゃ)

(5) 盆石の流れ～伝書をたどる

会 期：9月5日(金)～9月17日(水) 12日間
主 催：さいたま市大宮盆栽美術館
協 力：一般財団法人細川流盆石
会 場：ロビー、コレクションギャラリー
出品席数：9 席
関連事業：

盆石制作のデモンストレーション・体験会

日 時：9月7日(日) 13:30～15:00

講 師：一般財団法人細川流盆石

参加者数：59 人

印 刷 物：ポスター B1 判 3 枚、B2 判 35 枚
 チラシ A4 判 2,500 枚

入館者数：2,132 人 (178 人／1 日)

担 当：中村麗理、立石見雪

開催概要：

本展は、日本の中世に端を発し、盆上の縮景を表現する伝統文化として、盆栽とも密接な関係を持つ「盆石」を特集したものである。

盆石とは、主に真塗の盆上に石を建て、白砂を撒いて、白鳥の羽根などを用いて水流や山岳等の文様を梳いて描き、山水の景観を縮景として表現する芸術である。

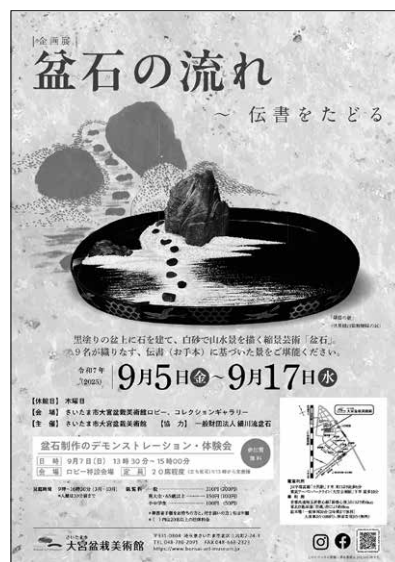
一般財団法人細川流盆石の協力を得て、9 名の会員各氏に出展いただいた。ロビー、ギャラリーでは盆石の 1 点飾り、座敷では盆石に当館の盆栽を合わせて展示した。

本年度は、盆石の伝書(お手本)に収録された景や手法を基にして描いた作品を展示し、盆石が辿ってきた歴史の流れを表現した。また、祝時に打つとされる景「蓬莱山」により大宮盆栽村 100 周年を祝した席も設えられた。

関連事業については、普段あまり触れることの少ない盆石の世界を身近に感じてもらうため、一般財団法人細川流盆石の会員によるデモンストレーション及び制作体験を実施し、多くの方にご参加いただいた。

出品作品一覧

場所	作品名	作者
ロビー	盆石 「神奈川沖浪裏富士」	家元嗣 永島三奈子
ギャラリー1	盆石 「稲子不二」	和田聖子
ギャラリー2	盆石 「摂州武庫川」	久保田聡
ギャラリー3	盆石 「箒目の盆」	美多賀鼻千世
ギャラリー4	盆石 「寒山寺」	清水玲子
ギャラリー5	盆石 「壇ノ浦」	網中順子
真の間	盆石 「近江八景」	佐野寿美
	①黒松、ハゼ ②A-127 檜、ヤクシマハギ	
行の間	盆石 「蓬莱山」	酒井滋子
	①山香ばし ②五葉松とコケモモ・梨の寄せ植え	
草の間	盆石 「岩手山」	岡本光之
	①ヌスビトハギとヤクシマイトススキ寄せ植え ②ミソナオシ	



ポスター



展示風景

(6) 大宮盆栽村 100 周年記念特別展
緑のフロンティア—大宮盆栽村 100 年—

会 期：10月3日(金)～12月10日(水) 60日間
主 催：さいたま市大宮盆栽美術館
会 場：コレクションギャラリー、企画展示室
出品点数：49 点

展示構成：

プロローグ 盆栽村以前 源太郎山
第1章 盆栽村の風景 開拓と発展
第2章 いしずえを築いた人びと
第3章 育まれた職人の技術
トピック 村の絆 清水瀨庵翁紀功碑
エピローグ 草木とともに生きる

関連事業：

1 講演会

(1)「大宮盆栽村と100年前の郊外開発」

日 時：10月12日(日) 14:00～15:30

講 師：高嶋 修一

(青山学院大学経済学部教授)

参加者数：35人

(2)「盆栽村の思い出とこれから」

日 時：11月15日(土) 13:30～14:30

講 師：野村 路子(作家)

参加者数：24人

2 トークイベント

(1)「盆栽村と盆栽の魅力について」

日 時：11月9日(日) 13:30～14:30

講 師：竹山浩(芙蓉園園主)

参加者数：10人

(2)特別展スライドトーク

日 時：①10月5日(日)、②10月18日(土)、
③11月2日(日)、④12月7日(日)

いずれも13:30～

講 師：担当学芸員

参加者数：①18人、②20人、③16人、④24人

印刷物：ポスター B1判 3枚、B2判 170枚
A3判 4,282枚
チラシ A4判 6,000枚
図録 A4判縦、72ページ、
カラー印刷、販売価格 1,600円

入館者数：22,934人(382人／1日)

担 当：菅原千華、立石美雪

開催概要：

大宮盆栽村は令和7年に開村100周年を迎えた。東京の千駄木で盆栽園を営んでいた清大園の園主・清水利太郎が最初に居住したのが大正14年(1925)4月のことで、そこから戦争を乗り越え、歳月を重ね、盆栽村は発展を遂げてきた。本展は盆栽村100周年を記念し、改めて盆栽村の歴史を振り返り、その魅力に迫るものである。

企画展示室では、盆栽村の場、人、技という三つの視点から、盆栽村の特徴を示した。1章では、地図資料や観光パンフレットなどを中心に展示し、盆栽村の開拓、盆栽園の集住、観光名所や郊外住宅地としての展開を紹介した。2章では、盆栽村の礎を築いた第一世代の盆栽園や愛好家の足跡がわかる貴重な資料を展示し、盆栽村の最初の居住者であった清大園・薫風園・蔓青園の東京時代からの歩みを振り返った。また、森於菟や北沢楽天など盆栽園以外の人びとにも目を向け、盆栽村の風土が盆栽を愛した住民たちによっても育まれていたことを紹介した。3章では、昭和初期から第二次世界大戦後にかけての盆栽界の変化に応じながら、盆栽村が完成された盆栽を生み出す職人の村として発展していく過程を辿り、第二世代の盆栽園主たちの活躍により、現在の盆栽村につながる技術が開発・継承されていったことを示した。

コレクションギャラリーでは、盆栽村の各盆栽園に伝わる名樹や、その園ならではの作風の作品を借用して展示するとともに、各園の特徴を紹介した。また、ロビーでは期間限定で九霞園が所蔵する昭和30年代のアーカイブ映像の上映を実施した。

大宮盆栽村の歴史は、当館が開館以来取り組んできたテーマであり、本展はこれまでの調査・研究の集大成として意義あるものになったといえる。特に、盆栽村を受け入れた側の事情、大砂土村や大宮町の人々の動きについて明らかにしたことで、大宮の地域史のなかで盆栽村を位置付けることができた。また、準備段階の調査で本展初公開となった清大園看板や内海華園の日記など新資料の発見があったほか、会期中・閉幕後にも盆栽村や盆栽園の関係者から多くの情報提供や写真、

資料の寄贈があり、新たな研究成果を蓄積できたことも大きな成果である。今後も大宮盆栽村についての調査・研究を継続し、盆栽文化継承の一助となるように努めていきたい。



チラシ



図録



展示風景

出品作品一覧

週	期 間	季節の一鉢	ギャラリー1	ギャラリー2	ギャラリー3	ギャラリー4	ギャラリー5	真の間	行の間	草の間
1	10月3日(金) 10月8日(水)	赤松 松雪園	樺 添え コウチヨウギ、ホタルツワブキ、シマザサ、フイリセキショウ寄せ植え 松雪園	楓 添え フイリセキショウ、コガネシダ寄せ植え 松雪園	五葉松 添え フウチソウ 松雪園	いわしで 添え アオイロフジバカマ 松雪園	五葉松 添え フイリセキショウ、ホタルツワブキ寄せ植え 松雪園	五葉松「叢雲」 添え リンドウ ブーゲンビレア 脇床 アセロラ ヒメリンゴ 付書院 松雪園	真柏 添え トウカエデ 付書院 ヒメサルスベリ 松雪園	赤松 脇 ケヤキ 松雪園
2	10月10日(金) 10月15日(水)	黒松 藤樹園	赤松 添え コガネシダ 藤樹園	深山海棠 添え ノコンギク 藤樹園	五葉松 添え ノコンギク 藤樹園	檜 添え ツメレンゲ 藤樹園	真柏 添え ミセバヤ、イ 寄せ植え 藤樹園	真柏 掛軸 泰山「月」 脇床 ハマギク 藤樹園	花梨 掛軸 岡本永司「和」 付書院 オモダカ 藤樹園	赤松 掛軸 HACA「緑と緑」 添え 人形 藤樹園
3	10月17日(金) 10月22日(水)	真柏「瑞龍」 蔓青園	真柏「龍王」 蔓青園	楓 蔓青園	黒松 蔓青園	真柏「青龍」 蔓青園	杜松「泰山」 蔓青園	黒松 脇床 菊花石 銘「観音」 付書院 前田照雲「観月」 蔓青園	真柏「香取」 掛軸 柳泉霜紅「旭波」 付書院 紫貴船石 蔓青園	樺 掛軸 加藤三郎「天地在盆中」 脇 盆石 蔓青園
4	10月24日(金) 10月29日(水)	宮様楓 九霞園	犬桜 九霞園	よれ杉 九霞園	高明山袋式精円鉢 添え エノマツ 九霞園	蘇鉄 九霞園	小藤 九霞園	檜 脇床 五重塔 付書院 フウチソウ 九霞園	楠 九霞園 鈴木賢一 江戸木田人形「飛翔」(岩槻人形博物館) E-069 金山修福「好尚古人心」	油漣青 九霞園
5	10月31日(金) 11月5日(水)	五葉松 清香園	五葉松 添え セキショウ 清香園	柚子 添え ヒメタデ 清香園	真柏 添え コグマザサ 清香園	彩花盆栽(山香ばし) 清香園	寒くみ 添え コガネシダ 清香園	A-001 五葉松「日暮し」 E-067 中原鄧州「白雲断処家山妙」 脇床 ニシバツコケモモ、ア クシバ、ササリンドウ、ゴゼンチ バナ、ヒメクママシダ、セキショ ウ寄せ植え	五葉松「夫婦松」 付書院 ノギク 清香園	梔子 短冊 中村岳陵「夫婦松之図」 清香園
6	11月7日(金) 11月12日(水)	山茶花 芙蓉園	捻幹柘榴 芙蓉園	樺 五葉松 添え ユキノシタ、スズメノヤリ寄せ植え 芙蓉園	五葉松「那須五峰」 芙蓉園	ブーゲンビレア 添え アサギリソウ 芙蓉園	花梨 芙蓉園	檜 脇床 ツルソバ 芙蓉園	楓 添え タカサゴサイシン 芙蓉園	真柏 脇 チョウジュノバイ 芙蓉園
7	11月14日(金) 11月19日(水)	①真柏、紫式部、ノハラ(赤頭巾) ②真柏、ノハラ(吉田ノハラ)、一才柘榴、真杉、マメゾク ③遠杜松、ヒラカンサス、コケモモ、ヒメトクサ ④縮緬意、イボタ、ヒラカンサス、アオツグラフジ ⑤ソナレ、紫式部、モリイチゴ ⑥杜松、コガネシダ、ホタルツワブキ、に おい楓 盆栽大野	「涙流」 滝石 真柏 後ノハラとコガネシダ寄せ植え 盆栽大野	「遠山」 遠山石 真柏 ツグタフジ、ツルソバ コガネシダ 盆栽大野	「里山」 茅舎石 山もみじ ガオリヒイラギ、ロウ ヤガキ ヒメユキノシタ、童 盆栽大野	「富士を望む」 富士石 杜松 ツメレンゲ、蟹 盆栽大野	豆鉢	A-064 黒松 E-072 足立泰道「松風」 脇床 クマザサ、リンネウ、セ キショウ、チョウジュノバイの寄 せ植え	A-114 樺 E-087 月僊「三賢人」 付書院 ヒメタデ	雪柳(瓦付き)
8	11月21日(金) 11月26日(水)	椿(胡蝶化助) 清香園	金豆 添え イワオモダカ 清香園	宮様楓 九霞園	樺 添え クマザサ 清香園	よれ杉 九霞園	棚飾り(黒松、八海山石、姫林檎、石化 檜) 添え カエデ(ほか 寄せ植え 松清園	真柏 掛軸 大森曹玄「松老雲 間」 脇床 アナ 清香園	楠 付書院 五重塔 九霞園 E-069 金山修福「好尚古人心」	油漣青 九霞園
9	11月28日(金) 12月3日(水)	梅(初雁) 芙蓉園	五葉松 添え アサギリソウ 芙蓉園	ヒラカンサス 添え コガネシダ 藤樹園	姫しやら 芙蓉園	真柏 添え ツメレンゲ 藤樹園	ガジュマル 芙蓉園	友禅樺 脇床 シンバク 芙蓉園	赤松 掛軸 如水「一鉢萬趣」 付書院 ツメレンゲ 藤樹園	真柏 掛軸 作者不詳「柚子と柿図」 添え 博多人形 童子 藤樹園
10	12月5日(金) 12月10日(水)	津山檜 蔓青園	山もみじ 添え ダイモンジソウ 松雪園	赤松 添え ユキノシタと コガネシダ寄せ植 え 松雪園	いわしで 添え ダイモンジソウ 松雪園	真柏「彩雲」 蔓青園	いわしで 蔓青園	黒松「秀真」 脇床 七重塔 付書院 佐治川石 蔓青園	蝦夷松 添え ダイモンジソウ 付書院 キンズ 松雪園	菊花石 掛軸 松村景文「富士山」 脇 工藤敬三「歌仙」 蔓青園

出品資料一覧

No	資料名称 / 記事名称	著者・出版	製作・発行年	員数	所蔵者
プロローグ 盆栽村以前 源太郎山					
1	「第一軍管地方二万分一迅速測図原図覆刻版」 (「明治前期測量2 万分1 フランス式彩色地図」)	一般財団法人日本地図センター	平成9年(1997)8月 (原図:明治13年～明治14年 〈1880～1881〉頃測量)	1枚	復刻版は館蔵
第1章 盆栽村の風景 開拓と発展					
2	『日本園芸雑誌』25年3号(1913)/ 「花卉及庭園 サツキの説」大宮好花園主任 大石未苗	日本園芸中央会	大正2年(1913)	1冊	館蔵(F-058)
3	『盆栽』5巻4月号/ 「盆栽村について」是空草堂主人(小林憲雄)	編集兼発行人:小林憲雄 発行所:叢会	大正14年(1925)4月1日	1冊	館蔵(F-054)
4	「大砂土村盆栽村附近明細図」	著作印刷兼発行者:恩田芳雄 発行所:大宮土地測量社	大正15年(1926)9月5日	1枚	さいたま市立博物館蔵
5	「大宮町全図」(『大宮便覧』附図)	中央新聞大宮通信部	昭和2年(1927)11月20日	1枚	さいたま市立博物館蔵
6	「大宮町全図」	発行人:長谷部正 発行所:長谷部土木建築事務所	昭和8年(1933)8月	1枚	さいたま市立博物館蔵
7	「大宮商工並ニ名勝案内地図」	発行人:穂積英 印刷所:明治堂印刷所	昭和9年(1934)1月1日	1枚	さいたま市 アーカイブズセンター蔵
8	薫風園アルバム	—	大正14年～昭和9年(1925～1934)	1冊	個人蔵
9	観光パンフレット「大宮名所盆栽村」	盆栽村組合	昭和10年(1935)頃	1枚	館蔵(F-001)
10	観光パンフレット「四季の大宮」	大宮案内所	昭和7年～9年(1932～34)頃	1枚	九霞園蔵
11	観光パンフレット「大宮」 (吉田初三郎「大宮島瞰図」)	著作権並版權所有者:吉田初三郎 発行所:埼玉県大宮保勝会	昭和9年(1934)10月30日	1枚	当館蔵(F-140)
12	パンフレット「電化の大宮と其近郊」	発行所:大宮保勝会	昭和7年(1932)11月1日	1枚	さいたま市 アーカイブズセンター蔵
13	『盆栽』第14巻第10号/ 「第一回盆栽村住宅地分譲」	編集兼発行人:小林憲雄 発行所:叢会	昭和9年(1934)10月5日	1冊	館蔵(F-054)
14	『盆栽』第16巻第12号/「大宮盆栽村土地」	編集兼発行人:小林憲雄 発行所:叢会	昭和11年(1936)12月5日	1冊	館蔵(F-054)
15	『聖戦記念 国民奉公録』	著作兼発行印刷者:長里清 発行所:帝国聯合通信社	昭和17年(1942)6月30日	1冊	個人蔵
16	「大宮盆栽園外分譲」	東京土地株式会社	昭和15年～30年代(1940～1964)	1枚	館蔵(F-114)
17	『盆栽』第19巻第1号/ 「清大園住宅地大分譲 第二盆栽村」	編集兼発行人:小林憲雄 発行所:叢会	昭和14年(1939)1月5日	1冊	館蔵(F-054)
第2章 いしづえを築いた人びと					
18	「根岸谷中日暮里豊島辺図」	著:景山致恭 版元:尾張屋清七	安政3年(1856)秋	1枚	館蔵(F-031)
19	石板画「団子坂菊花」	東京日本堂	明治20年～30年代(1887～1906)	1枚	館蔵(F-135)
20	「瓶花 盆栽 奇石 追善会」	会主:三品会連中	明治39年(1906)7月	1枚	文京ふるさと歴史館蔵
21	清大園看板「清大園」種樹花盆栽」	揮毫:山岡鉄舟	明治19年(1886)6月	1架	館蔵(F-141)
22	清大園看板「欣々向栄」	揮毫:櫛香(カ)	明治22年(1889)1月	1架	館蔵(F-142)
23	清大園引札「種樹花盆栽」	駒込敷下 清大園 清水藤吉	明治時代(1868～1912)	1枚	文京ふるさと歴史館蔵
24	薫風園引札	駒込団子坂 薫風園光三郎	明治時代(1868～1912)	1枚	文京ふるさと歴史館蔵
25	「盆栽同好会の創設并に雑誌盆栽雅報の発刊」	発起人:生島一(無待庵主人)、香樹園、薫風園	明治39年(1906)5月	1枚	文京ふるさと歴史館蔵
26	『盆栽雅報』第一号	編集兼発行人:村田利右衛門 発行所:盆栽同好会	明治39年(1906)5月10日	1冊	館蔵(F-057)
27	「萬年青銘鑑」	東京駒込 勉強堂 加藤留吉	明治28年(1895)1月	1枚	館蔵(F-086)
28	『加藤蔓青園案内』	蔓青園 加藤留吉	昭和10年(1935)頃	1冊	館蔵(F-079)
29	『解剖台に凭りて』	著者:森於菟 発行所:森北書店	昭和18年(1943)8月10日 ※ 初版は昭和9年(1934)1月 (昭和書房)	1冊	館蔵(F-088)
30	九霞園芳名帳(北沢楽天と村田久造)	画:北沢楽天	昭和27年(1952)4月	1冊	九霞園蔵
31	『盆栽』30巻4月号/「枯木供養」大塚八楽荘	編集兼発行人:小林憲雄 発行所:叢会	昭和25年(1950)4月1日	1冊	館蔵(F-054)
第3章 育まれた職人の技術					
32	『盆栽』6巻12号/「盆栽村の技術陳列会」	編集兼発行人:小林憲雄 発行所:叢会	大正15年(1926)12月1日	1冊	館蔵(F-054)
33	『盆栽』第19巻第6号/ 「五葉松 根付の苦心」清水静庵(利太郎)	編集兼発行人:小林憲雄 発行所:叢会	昭和14年(1939)6月5日	1冊	館蔵(F-054)
34	蝦夷松山採り風景写真	—	昭和初期(1928～1940)	1冊	九霞園蔵
35	「寄植百態」	加藤三郎	昭和37年(1962)6月	1冊	蔓青園蔵
36	盆栽スケッチ	加藤三郎	昭和30年代(1955～1964)頃		蔓青園蔵
37	寄せ植盆栽図	竹山房造	昭和14年～昭和54年(1939～1979)	1冊	清蓉園蔵
38	松図	濱野元介	昭和6年～平成3年(1931～1991)	1幅	館蔵(E-086)
39	「新発売 超強力盆樹矯正器二種(昌国作)」	発売元 明樹園 川本藤吉、九霞園 村田久造、一光園 原田栄一郎	昭和時代(1926～1989)	1枚	九霞園蔵
40	九霞式楨杆(てこ)、九霞式ジャッキ	川澄昌国	昭和時代(1926～1989)	2点	九霞園蔵
41	「発明家表彰調査表」	日本発明特許学会	昭和52年(1977)1月29日	1枚	九霞園蔵
42	盆栽鉢	川澄国治(初代昌国)	大正～昭和時代(1912～1989)	1挺	さいたま市立博物館蔵
43	紫檀寄木平卓	葛木香山	昭和時代(1926～1989)	1台	館蔵(D-093)
44	黄楊木平卓	葛木香山	昭和時代(1926～1989)	1台	館蔵(D-094)
トピック 村の絆 清水瀬庵翁紀功碑					
45	「大宮盆栽村満十周年記念事業発起趣旨」	発起人一同	昭和9年(1934)10月	1枚	九霞園蔵
46	「清水瀬庵翁記功碑除幕式次第」	盆栽村建設記念会	昭和11年(1936)11月3日	1枚	九霞園蔵
47	印章「盆栽村建設記念会印」「記念碑建設会之印」	盆栽村建設記念会	昭和9年(1934)	2点	九霞園蔵
48	除幕式に際しての記念盆栽陳列会の案内	大宮盆栽村一同	昭和11年(1936)	1枚	九霞園蔵
エピローグ 草木とともに生きる					
49	日記	内海博	昭和14年(1939)1月1日～12月31日 昭和16年(1941)1月1日～6月19日	1冊	個人蔵

Ⅲ 普及事業

盆栽文化の普及を目的とした事業として、当館では月例の講座をはじめ、展示やイベント等に合わせた不定期の特別講座や各種の依頼を受けて実施する出張講座、学校との連携事業、その他イベント事業を数多く開催し、そのほとんどの事業においては当館のボランティア組織である「ミュージアム・サポーター」の助力を得て実施している。

令和7年度は、昨年度まで実施した一般の方を対象とした「盆栽ワークショップーはじめての盆栽づくり」および「盆栽相談デー」の実施を取りやめることとした。その理由について、「盆栽ワークショップ」は大宮盆栽村の盆栽園が一般向けの随時講座を実施していること、「盆栽相談デー」については各盆栽園が一般の方の相談受け入れに協力くださることから、それぞれ当館における一定の役割を果たしたと判断したことによる。

なお、盆栽の相談に関しては当館ウェブサイトにも各盆栽園への相談に係る注意事項等の情報を掲載し、一般の方の盆栽園への来園を促すよう努めた。

また、一般の方向けのワークショップについては、より広範な地域かつ多様な参加者に盆栽文化を広めること、また、他の社会教育施設との連携強化のため、特に公民館など外部施設から依頼を受けて実施する出張盆栽講座を積極的に受け入れることとし、比較的作成が容易な苔玉盆栽作りをテーマとすることにより、その講師を「ミュージアム・サポーター」に努めていただき、講座参加者の多様化とともにサポーターの活躍の場づくりも念頭にいた新たな事業展開を目指した。

1 定例講座

(1) 子ども向けワークショップーはじめての盆栽づくり

対 象：小中学生

日 時：4、5、10、11、2、3月

第3日曜日 10:00～11:30

実施数：6回

会 場：講座室

参加費：3,000円

参加者数(定員)：136人(各10組)

講 師：大宮盆栽協同組合

担 当：立石見雪、中村麗理

開催概要：

本講座は、盆栽文化の普及を目的として、小中学生とその保護者向けに開催している。

初心者でも育てやすい真柏を素材とし、植え替えの適期に合わせてワークショップを実施した。

講座では、苗木の正面や見どころを見極め、剪定や植え替えを行って一人一鉢の盆栽をつくり、今後の培養管理の方法について学ぶ。

この受講が美術館への来館と大宮盆栽村訪問のきっかけとなるよう、講座内容には美術館の展示や盆栽園の紹介を加えるとともに、大宮盆栽協同組合から講師を迎えて実施した。

また、受講者にきめ細やかな指導をするため、当館ボランティア組織「ミュージアム・サポーター」のスタッフが指導補助として参加した。

子ども向けワークショップ一覧

No	開催日	素材	講師	参加組数	参加者数(人)
1	4月20日	真柏	蔓青園	10	23
2	5月18日	真柏	清香園	10	26
3	10月19日	真柏	九霞園	7	15
4	11月16日	真柏	芙蓉園	10	22
5	2月15日	真柏	藤樹園	9	25
6	3月15日	真柏	松雪園	10	25

合計 56組 136人



参加者の作業の様子



講師による指導



サポーターによる補助

(2) 盆栽実技

対 象：一般の方

日 時：4月～令和8年3月

毎月第4土曜日 13:30～14:30

実 施 数：12回

会 場：講座室

参 加 費：無料

参加者数(定員)：317人(各30人)

講 師：大宮盆栽協同組合

担 当：立石見雪

開催概要：

大宮盆栽協同組合から講師を迎え、季節に合った盆栽の手入れ方法や知識を実技を交えながら講義いただいた。

なお、各月のテーマと担当盆栽園を当館ホームページで事前に公開し、英語版も作成して海外の方にも内容を周知した。

盆栽実技一覧

No	開催日	講師	参加者数(人)
1	4月26日	芙蓉園	26
2	5月24日	蔓青園	22
3	6月28日	松雪園	26
4	7月26日	清香園	23
5	8月23日	九霞園	24
6	9月27日	藤樹園	45
7	10月25日	芙蓉園	30
8	11月22日	蔓青園	24
9	12月27日	藤樹園	26
10	1月24日	清香園	24
11	2月28日	九霞園	25
12	3月28日	藤樹園	22
合計			317人

(3) ギャラリートーク

盆栽等の鑑賞の基本や出品物の見どころを紹介し、来館者のより深い出品物及び盆栽文化への理解を育むため、基本的に毎月第1日曜及び第3土曜に、当館職員または企画展等の出品者による解説会を開催している。

なお、本年度の特別展に関しては、会場となる企画展示室の混雑緩和のため、ロビーを会場としてスライドトーク形式で実施した。

ギャラリートーク一覧

No	開催日	曜日	時間	名称	講師 (敬称略)	参加者数 (人)
1	4月6日	日	13:30～14:10	企画展「第34回作家展」スライドトーク	山田登美男	22
2	4月19日	土	13:30～14:00	企画展「第34回作家展」スライドトーク	山田登美男	48
3	5月17日	土	13:30～14:00	ギャラリートーク	立石見雪	29
4	6月21日	土	13:30～14:00	ギャラリートーク	立石見雪	19
5	7月6日	日	13:30～14:00	ギャラリートーク	田口文哉	15
6	7月19日	土	13:30～14:00	企画展「山水涼景」ギャラリートーク	加藤崇寿 (日本水石協会)	23
7	8月3日	日	13:30～14:15	ギャラリートーク	田口文哉	10
8	8月16日	土	13:30～14:10	企画展「山水涼景」ギャラリートーク	森前誠二 (日本水石協会)	24
9	9月20日	土	13:30～14:00	ギャラリートーク	立石見雪	8
10	10月5日	日	13:30～14:30	特別展「緑のフロンティア」スライドトーク	菅原千華	18
11	10月18日	土	13:30～14:20	特別展「緑のフロンティア」スライドトーク	菅原千華	20
12	11月2日	日	13:30～14:30	特別展「緑のフロンティア」スライドトーク	菅原千華	16
13	12月7日	日	13:30～14:30	特別展「緑のフロンティア」スライドトーク	菅原千華	24
14	12月20日	土	13:30～14:10	ギャラリートーク	立石見雪	3
15	1月4日	日	13:30～14:20	ギャラリートーク	田口文哉	20
16	1月17日	土	13:30～14:20	ギャラリートーク	菅原千華	20
17	2月1日	日	13:30～14:30	ギャラリートーク	田口文哉	20
18	2月21日	土	13:30～14:20	ギャラリートーク	立石見雪	27
19	3月1日	日	13:30～14:25	ギャラリートーク	菅原千華	18
20	3月21日	土	13:30～14:20	ギャラリートーク	菅原千華	20
合計						404人

2 特別講座

(1) 夏休みワークショップ ーこけ玉盆栽づくり

対 象：小中学生

日 時：7月20日（日）～7月22日（火）、
8月2日（土）～8月4日（月）
10:30～11:30、13:00～14:00、
15:00～16:00

実 施 数：10回

会 場：講座室

参 加 費：2,000円

参加者数（定員）：236人（各12組）

講 師：大宮盆栽協同組合

担 当：中村麗理、立石見雪

開催概要：

さいたま市内小学校の夏休み期間に合わせて、盆栽文化の普及を目的とした小中学生が対象の夏休みワークショップを開催した。

実施にあたり、小中学生が簡単にこけ玉盆栽づくりができるよう、使用する材料や道具類、指導方法について工夫を行った。これにより、小学校低学年でも最後まで集中してこけ玉盆栽を作ることができた。

また、保護者の見学や撮影を自由とし、保護者

が作成の場に立ち合い、講師による培養管理の解説も聞くことで、今後の育て方についての理解を深めてもらうよう工夫した。



講座風景

夏休みワークショップ一覧

No	開催日	曜日	時間	講師	参加組数 (組)	参加者数 (人)
1	7月20日	日	10:30～11:30	藤樹園	12	25
2	7月20日	日	13:00～14:00	蔓青園	12	25
3	7月20日	日	15:00～16:00	蔓青園	12	28
4	7月21日	月	15:00～16:00	芙蓉園	12	25
5	7月22日	火	15:00～16:00	芙蓉園	12	24
6	8月2日	土	15:00～16:00	蔓青園	10	20
7	8月3日	日	10:30～11:30	盆栽大野	11	23
8	8月3日	日	13:00～14:00	盆栽大野	11	25
9	8月3日	日	15:00～16:00	盆栽大野	9	19
10	8月4日	月	15:00～16:00	松雪園	10	22
合 計					111 組	236 人

(2) 出張講座等

各種団体の依頼を受け、外部施設または当館において、以下のとおり 17 回の講座を実施した。

盆栽文化に関する出講一覧

No	開催日	曜日	時間	講座・イベント名称	講師(敬称略)	会場	参加者数(人)
1	4月16日	水	① 10:00～12:30 ② 14:30～16:00	作って楽しい！ 育てて楽しい！ 苔玉盆栽教室	田口文哉、中村麗理、立石見雪	駅たびコンシェルジュ大宮	16
2	4月19日	土	10:00～11:45	北図書館「親子盆栽教室」	サポーター(8人)、田口文哉	プラザノース2 階絵画アトリエ	20
3	4月26日	土	10:30～11:30	さわって、たのしいこけ玉盆栽づくり	サポーター(9人)、立石見雪	大宮図書館研修室	14
4	7月6日	日	13:00～14:00	出前講座(埼玉県煎茶道連盟)	立石見雪	氷川の杜文化館	28
5	7月23日	水	10:00～12:00	こけ玉盆栽講座	サポーター(2人)、立石見雪	植水公民館	15
6	8月19日	火	9:30～11:00	日進公園コミュニティセンター「地域で活躍するお仕事紹介」	中村麗理	大宮盆栽美術館	7
7	10月29日	水	10:00～12:00	植竹公民館 歴史散策Ⅰ「大宮の盆栽に触れる」	立石見雪	大宮盆栽美術館	15
8	11月5日	水	9:30～12:00	与野本町公民館介護予防事業「大宮盆栽村100周年記念／そうだ！ 大宮盆栽美術館へ行こう！」	蔓青園(石川寛一)、菅原千華	大宮盆栽美術館	10
9	11月8日	土	10:00～12:00	盆栽の魅力と苔玉盆栽作り	サポーター(5人)、立石見雪	尾間木公民館	20
10	11月22日	土	10:00～12:00	盆栽の魅力と苔玉盆栽作り	サポーター(3人)、立石見雪、田口文哉	南浦和公民館	19
11	11月30日	日	10:00～12:00	盆栽の魅力と苔玉づくり	サポーター(4人)、田口文哉	大古里公民館	20
12	1月17日	土	9:30～12:30	盆栽村の歴史と松竹梅の寄植え盆栽づくり	蔓青園(石川寛一)、立石見雪	善前公民館	12
13	2月15日	日	10:00～12:00	～公民館のワークショップに行ってみよう～こけ玉盆栽を作ろう	サポーター(5人)、立石見雪、田口文哉	大久保東公民館	10
14	2月17日	火	13:00～16:00	埼玉りそな銀行「盆栽と空き家対策セミナー」	蔓青園(石川寛一)、 中山敦貴(税理士)、田口	大宮盆栽美術館	20
15	3月3日	火	10:00～12:00	盆栽の魅力と苔玉づくり	サポーター(4人)、立石見雪	仲町公民館	20
16	3月5日	木	13:30～14:30	公益財団法人埼玉県産業文化センター 「BONSAIの町 大宮 ミニ教室(盆栽の鑑賞の基本)」	田口文哉	ソニックシティ	50
17	3月17日	火	① 11:00～12:30 ② 14:30～16:00	作って楽しい！ 育てて楽しい！ 苔玉盆栽教室	サポーター(8人)、田口文哉	駅たびコンシェルジュ大宮	16
合 計							312人

担 当：中村麗理、立石見雪

3 学校連携

(1) 学校見学

さいたま市内小学校を中心に、校外学習等の授業の一環としての見学を受け入れている。

また、当館の利用促進及び効率的な学習活動を提供するため、さいたま市立小学校を対象として、当館の費用負担によるバスの借上げ事業を実施している。

見学は、小学校3年生の社会科「地域学習」を念頭において①大宮盆栽美術館の特徴や大宮盆栽村についての学習、②展示盆栽の見学、③盆栽に触れる体験からなる3つのプログラムによって実施した。これらのプログラムは、盆栽の見方など、盆栽についての知識を身に付け、展示している盆栽の中から好きな盆栽を探したり、盆栽に触れたり水やりを体験することで、児童が様々な気づきを得ることができる内容となっている。

バス借上げ事業での見学は13校14回実施し、徒歩及び学校によるバス手配での見学の1校3回と合わせて、実施校数は14校となった。

バス借上げ事業での見学

実施校：13校（14回）

バス借上げ台数：23台

人 数：711人（引率を含む）

徒歩及び学校バス手配での見学

実施校：1校（3回）

人 数：244人（引率を含む）

小学校見学総数

実施校：14校（17回）

人 数：955人（引率含む）



見学風景

学校見学一覧

【小学校】バス借上げ事業

No	日程	曜日	時間	学校名	学年	クラス数	人数	引率	合計	バス台数
1	5月21日	水	9:00～10:30	与野本町小学校	3	3	100	7	107	3
2	6月6日	金	13:10～14:30	岩槻小学校	4	2	73	5	78	2
3	9月19日	金	13:15～14:30	大久保小学校	3	1	31	3	34	1
4	9月24日	水	13:10～14:40	大戸小学校	3	3	73	5	78	2
5	9月26日	金	9:30～11:00	川通小学校	3	1	17	3	20	1
6	10月1日	水	9:00～10:30	城南小学校	4	2	45	4	49	2
7	10月3日	金	13:00～14:30	鈴谷小学校	5	3	98	9	107	3
8	10月15日	水	9:50～11:10	柏崎小学校	3	2	34	4	38	1
9	10月17日	金	10:30～11:30	岩槻教育相談室 教育支援センター 「たいう」・堀崎教育相談室 教育支援センター「ステップ」	複数	-	7	9	16	1
10	10月21日	火	9:40～11:30	東岩槻小学校	3	1	24	3	27	1
11	10月22日	水	13:00～14:00 14:00～15:00	栄和小学校	3	4	121	7	128	4
12	10月24日	金	10:30～11:30	北教育相談室・教育支援センター 「はばたき」	複数	-	14	5	19	1
13	11月7日	金	9:00～10:10	馬宮西小学校	3	1	8	2	10	1
合計					13校（14回）	23クラス			711人	バス23台

【小学校】徒歩及び学校バス手配での見学

No	日程	曜日	時間	学校名	学年	クラス数	人数	引率	合計	来館方法
1	10月7日	水	9:00～10:00	植竹小学校	3	4	103	8	111	徒歩
2	10月8日	水	9:30～10:30 10:45～11:45	植竹小学校	5	4	125	8	133	徒歩
合計					1校（3回）	8クラス			244人	

(2) 出張盆栽授業

市内外の小学校から大学まで各種学校の依頼を受け、児童、生徒、学生、または教員を対象として依頼内容に応じた出張盆栽授業等を以下のとおり実施した。

出張盆栽授業一覧

No	実施日	時間	名称・内容	会場	担当	参加者数 (人)
1	7月10日 (木)	13:40 ~ 14:30	土呂中学校出張盆栽授業 第2学年美術科の授業において盆栽をモチーフとしたペーパークラフト作品作りを行うにあたり、事前学習として大宮盆栽村の歴史と盆栽の鑑賞基礎に関する講義および赤松盆栽を素材とした針金掛けによる整枝整形技術のデモンストレーションを実施。	土呂中学校	田口文哉 小棚明生	160
2	8月6日 (水)	15:15 ~ 16:15	農業教育研究会分野別研究協議会（環境創造系） 農業系高校教諭の研究会において、ゲスト講師として大宮盆栽村の歴史および盆栽の鑑賞基礎等の講義を実施。	大宮盆栽美術館	田口文哉	12
3	8月29日 (金)	12:00 ~ 16:00	埼玉大学夏季集中講義フィールドワーク「実践ベンチャー論Ⅱ」 地域の伝統産業として盆栽および大宮盆栽村をテーマとして取り上げるにあたり、館内見学案内および盆栽の鑑賞基礎、大宮盆栽村の歴史に関する講義を実施。	大宮盆栽美術館	立石見雪	8
4	10月13日 (月祝)	17:00 ~ 18:30	さいたま Jr. プロモーター さいたま市の魅力を児童生徒が「グローバル・スタディ」の授業で習得した英語力を活用して発信するさいたま市教育委員会主催の同活動において盆栽をテーマとして取り上げるにあたり、事前学習として大宮盆栽村の歴史や盆栽の鑑賞基礎などの講義を実施。	オンライン	田口文哉	28
5	11月4日 (火)	10:50 ~ 11:35	埼玉県立越谷西高等学校「美術Ⅲ」 第3学年美術科の授業において盆器及び盆栽作りを行うにあたり、事前学習として盆栽の鑑賞基礎などの講義を実施。	埼玉県立越谷西高等学校	立石見雪	9
6	11月18日 (火)	11:00 ~ 12:30	浦和学院高等学校「ヤングリーダーズサミット 2025 ラーニングジャーニー」 アジア圏の提携高校の代表生徒を招聘し、SDGs を主要テーマとして、地域の文化・産業として盆栽を取り上げ、研究討論会を開催するにあたり、館内見学案内および盆栽鑑賞の基礎、盆栽の国際化などについて講義を実施。	大宮盆栽美術館	田口文哉	22
7	11月20日 (木)	14:05 ~ 14:40	令和7年度さいたま市教育研究会 研修大会（図画工作・美術部） さいたま市の美術科教員の研修大会において盆栽をモチーフとした作品制作を行うにあたり、予備学習として大宮盆栽村の歴史および盆栽の鑑賞基礎に関する講義を実施。	宮原中学校	田口文哉	40
8	12月17日 (水)	13:20 ~ 14:30	淑徳大学地域創生学部「地域産業資源論」 地域の産業資源として盆栽を取り上げるにあたり、大宮盆栽村の歴史および盆栽の鑑賞基礎、大宮盆栽美術館に関する講義を実施。	淑徳大学埼玉キャンパス	田口文哉	38
9	1月21日 (水)	13:50 ~ 15:45	杉戸農業高等学校 出張盆栽授業 造園科生徒を対象とした就業に向けた各種職業に関する知見の獲得を目指した特別授業を実施するにあたり、盆栽の鑑賞基礎に関する講義および真柏盆栽の整枝整形のデモンストレーションを実施。	埼玉県立杉戸農業高等学校	田口文哉 小棚明生	30
10	1月28日 (水)	13:50 ~ 15:45	杉戸農業高等学校 出張盆栽授業 上記授業の2回目として、真柏を苗木とした一人一鉢の盆栽作り体験を実施。	埼玉県立杉戸農業高等学校	田口文哉 小棚明生	27
11	2月2日 (月)	9:35 ~ 11:25	植竹小学校出張盆栽授業 第2学年児童を対象に、「大宮盆栽村かるた」を教材にかつた取りの実践を通して大宮盆栽村の歴史を楽しく学ぶ授業を実施。	植竹小学校	中村麗理 立石見雪	118

合計 492 人

(3) 埼玉県立浦和北高等学校・越谷西高等学校 盆栽作品展

会 期：11月14日（金）～11月19日（水）

会 場：ロビー

参加者数：67 人

浦和北高校 59 人、越谷西高校 8 人

担 当：田口文哉

開催概要：

埼玉県立浦和北高等学校（「美術総合」）および越谷西高等学校（「美術Ⅲ」）では、美術科目において、埼玉県が世界に誇る日本の伝統的な文化である盆栽について、体験を通して理解を深め、地元根付く伝統文化を大切に育む心を育成することを目的とした授業を行っている。授業には当市の学芸員が出講し、盆栽や盆栽村の歴史、鑑賞

の基本などを紹介したほか、藤樹園の盆栽講師の指導により、生徒が事前に制作したオリジナルの盆器で盆栽づくりが行われた。本展示は、その成果発表の場として、当館が開催したものである。

盆栽授業は、浦和北高校では8年目、越谷西高校では6年目となった。



浦和北高校の展示



越谷西高校の展示

(4) 第3回さいたま市立土呂中学校・第2学年美術科授業選抜作品展覧会「万才・溢彩・BONSAI」

会 期：令和8年3月20日(金)～4月8日(水)

会 場：ロビー

参加者数：36人

関連事業：

万才・溢彩アーティストとトークー中学生ボランティアによる作品解説—

日 時：3月22日(日) 14:00～15:30

参加者数：11人(生徒数)

担 当：田口文哉

開催概要：

さいたま市立土呂中学校美術科第2学年における盆栽をモチーフとするペーパークラフト作品を制作する授業に協力し、授業の成果発表の場として、生徒の作品から36点を選抜して紹介する3回目の展覧会を同校との共催により開催した。

作品は、盆栽の調べ学習を行った生徒が自らの心情を盆栽として表現するために描いたアイデアスケッチを基に、紙紐を材料として束ねて曲げるなどの加工や着彩によって樹木の幹枝、葉、花を造形して表現したペーパークラフトである。

本年度は、土呂中学校校長、当館館長、学芸員、盆栽技師の選考による4賞の表彰制度を設け、以下のボランティア解説会と同日に表彰式を開催した。

関連イベントとして、土呂中学校からボランティアを募り、展示会場にて生徒自身が来場者に作品解説を行う会を実施した。



展覧会ポスター



展示の様子



中学生ボランティアによる作品解説

(5) 職場体験、研修等の受入れ

① さいたま市中学校職場体験事業「未来くるワーク体験」

対 象：さいたま市立中学校

日 時：一覧参照

実 施 数：一覧参照

参加者数：19人

担 当：中村麗理

開催概要：

さいたま市立中学校が実施するさいたま市中学校職場体験事業「未来くるワーク体験」の受入れを行った。中学生には受付業務、展示準備・撤去、盆栽の培養管理など当館の業務の幅広い体験を提供した。

No	学校名	期間	日数	学年	人数
1	大宮北中学校	7/8(火)～7/9(水)	2	2	3
2	泰平中学校	7/10(木)～7/11(金)	2	2	2
3	春野中学校	9/3(水)～9/5(金)	3	2	3
4	常盤中学校	9/9(火)～9/11(木)	3	2	2
5	土呂中学校	9/9(火)～9/11(木)	3	2	2
6	大砂土中学校	9/17(水)～9/19(金)	3	2	2
7	第二東中学校	11/12(水)～11/13(木)	2	1	2
8	植竹中学校	12/10(水)～12/12(金)	3	2	3

合計 21日 19人(8校)

② 中堅教諭等資質向上研修企業等体験研修

対 象：さいたま市立小中学校教諭

日 時：7月23日(水)～7月24日(木)

7月30日(水)～7月31日(木) 8:30～17:15

実 施 数：2回

参加者数：4人

担 当：田口文哉

開催概要：

夏休み期間中に実施される市立小中学校教諭向けの研修の受入れを行った。講座の準備や開催補助、各種資料の入力業務など、職員が行っている業務全般について体験機会を提供した。

③ 博物館見学実習

対 象：大妻女子大学

日 時：5月18日(日) 13:30～15:00

実 施 数：1回

参加者数：15人

担 当：学芸員

開催概要：

各大学学芸員課程の博物館見学実習を受け入れ、学芸員による講義と館内の見学案内を行った。

4 イベント

(1) 館内実施事業

期日	名称	概要	参加者数 (人)
5月3日(土祝)～4日(日祝)	盆美 de カフェ	「第42回大盆栽まつり」開催期間にあわせ、盆栽文化のさらなる発信・振興へつなげるとともに、来館者へのおもてなしの一環とするため、館内にカフェを開店した。	—
7月19日(土)～8月31日(日)	ゆかた de 盆美	ゆかた、甚平、和服を着た来館者は観覧料無料とするキャンペーン。以下2件の関連イベントを実施。	107
7月19日(土)	ゆかた着付け体験・打ち水イベント	「ゆかたde盆美」企画。ゆかたの着付け体験及び館内見学並びに打ち水イベントを実施。協力ハクビ京都さも学院埼玉校。	16 ※着付け体験参加者数
7月19日(土)～8月31日(日)	SNSを利用したプレゼント企画	「ゆかたde盆美」企画。期間中に当館で撮影したゆかた姿の写真をInstagramに投稿した方に、絵葉書またはミニ盆栽のいずれかをプレゼント。	29
11月21日(金)～12月3日(水)	アーツカウンシルさいたま さいたま文化発信プロジェクト 「空想するさいたま」 “夢を みる、さいたま、仮に”	アーツカウンシルさいたまによる、さいたま市の文化資源をモチーフにしたデジタル作品プラン等の公募入選プランを制作するプロジェクトとして、作家・徐秋成による体験型VRゲーム作品の初公開展示。	139
1月15日(金)～1月21日(水)	大宮盆栽美術館×大宮工業 高等学校 100周年連携プロ ジェクト 「埼玉県立大宮工業高等学校 作品展」	大宮工業高等学校建築科の授業に協力し、生徒が制作した組子細工の行燈や衝立を盆栽の席飾りとして展示した。	9 ※参加生徒数

(2) 館外実施事業

外部施設等の依頼に応じ、館外における盆栽関連イベントに協力し、当館および盆栽文化のPRを行った。

期日	名称	会場	内容	観覧者 数(人)
6月2日(月)～6月30日(月)	中央区役所盆栽写真展	中央区役所食堂棟 (区民ギャラリー)	当館所蔵盆栽のパネル写真展	1,962
4月15日(火)～4月19日(土)	ライブラリーブックサーカス in 北図書館	プラザノース (1階ユーモアスクエア)	大宮盆栽村100周年パネルおよび盆栽展示	—
4月20日(日)～5月6日(火)	万才・溢彩・BONSAI さいたま 市立土呂中学校第2学年美術 科授業選抜作品展覧会	北図書館	土呂中学校生徒作品の展示 (36点)	—
4月23(水)～4月27日(日)	盆栽×図書館	大宮図書館	大宮盆栽村100周年パネルおよび盆栽展示	—
5月1日(木)	大宮盆栽村100周年記念プラネ タリウム番組「盆栽の見た100 年の星空」	宇宙劇場	大宮盆栽村100周年記念プログラムの公開 記念盆栽展示	—
9月18日(木)～9月21日(日)	2025年日本国際万博 (大阪・ 関西万博) さいたま市出展 「BONSAI&NINGYO 伝統文 化と暮らす街 さいたま市」	万博会場内「ギャラリーEAST」	さいたま市が誇る伝統産業である大宮の 盆栽・岩槻の人形の展示、盆栽・人形 のある暮らしの提案	22,000
9月20日(土)	秋田駅フェスティバル2025	秋田駅、秋田駅西口駅前広場 (芝生広場)	ミュージアムガイド、ノベルティ配布	—

5 ミュージアム・サポーターの活動

期 間：4月～令和8年3月

会 場：大宮盆栽美術館

登録サポーター数：43人

担 当：立石見雪、中村麗理、菅原千華

概 要：

昨年度に引き続き、ガイド、ワークショップ、学校見学、資料整理、アカデミー実技講座補助等の活動を実施した。また、公民館等からの依頼を受け、ミュージアム・サポーターが講師を務めるこけ玉盆栽講座を10回開催し、地域における盆栽文化の普及に取り組んだ。

令和7年に大宮盆栽村が100周年を迎えたことから、ガイド活動も一層積極的に行い、特に団体ガイドの実施件数は前年度の4倍となった。これにより多くの来館者に盆栽文化の魅力を伝えた。

また、大宮盆栽村100周年記念事業として昨年度から継続して制作してきた「大宮盆栽村かるた」が完成した。サポーター研修では、コミュニケーションの活性化を目的として、実際にかかるたを活用した研修を実施した。

多様な活動や研修を通じてサポーターの知識と技能の向上が図られるとともに、大宮盆栽村100周年を契機として、サポーター同士の連携や連帯感の向上にもつながった。



活動一覧

事業グループ	事業名	日時または期間	実施回数	参加者数(延べ)	内容
ガイド	GW展示ガイド	5月3日(土祝)13:00～15:00 5月4日(日祝)10:00～12:00、13:00～15:00 5月5日(月祝)10:00～12:00	—	18人	ゴールデンウィークの大盆栽まつりの開催にあわせた企画として、30分で館内をめぐるツアーガイドを実施した。
	団体ガイド	5月～令和7年3月	32回	74人	15人以上の団体向けに、30分程度の館内ガイドを実施した。
	ウェルカム・ミュージアム!	4月19日(土)～令和8年3月30日(月) 土曜日、日曜日、月曜日 10:00～12:00、13:00～15:00	78回	120人	来館者の鑑賞をサポートするため、質問や疑問に答える随時型のガイドを土曜日と日曜日、月曜日に実施した。
ワークショップ	定例ワークショップ	4月、5月、10月、11月、令和8年2月、3月 第3土曜日 10:00～11:30	6回	18人	子ども向けワークショップにおいて、盆栽づくりの補助を行った。
	夏休みワークショップ	7月20日(日)～8月4日(月) 内7日間	11回	37人	企画展「夏休み子どもほんさい美術館」に関連して開催した子ども向けのこけ玉盆栽づくりのワークショップの補助を行った。
学校見学	学校見学	5月21日(水)～11月7日(金)	14校 17回	43人	校外学習で来館した小学生が盆栽のについての理解を深められるように、鑑賞方法の解説や水やり体験などを実施した。
資料整理	資料整理	毎月第2日曜日、第4水曜日 13:00～16:00	17回	53人	所蔵図書や資料を体系的に整理し、将来的に活用するため、目録や解題作成を行った。
アカデミー	さいたま国際盆栽アカデミー盆栽展示	令和8年2月13日(金)～2月18日(水)	1回	展示6人 設営1人	さいたま国際盆栽アカデミー修了者が同講座で制作した盆栽を展示した。
	アカデミー補助	6月～3月の第1土曜日、第3土曜日 9:30～11:30、13:30～15:30	8回	46人	さいたま国際盆栽アカデミー初級・中級コースの実技講座の補助を同アカデミー中級修了者が行った。
その他	アウトリーチ活動	4月19日(土)～令和8年3月17日(火)	10回	50人	公民館や図書館等が主催するワークショップにサポーターが講師として出講し、こけ玉盆栽づくりを実施した。
	その他	3月18日(水) 9:30～11:00、13:30～15:00	2回	6人	当館で開催されたワークショップにおいて、盆栽づくりの補助を行った。
	研修	主に毎月第2日曜9:30～11:30	14回	273人	全員を対象とした研修に加え、ガイド力向上を目的とした研修を実施した。

Ⅳ 大宮盆栽村100周年記念事業

大宮盆栽村の開村100周年を記念し、当館では以下に掲げる事業を実施した。

なお、同事業の内、展覧会事業については「Ⅱ 展覧会事業／2 企画展・特別展」に掲載した。

また、さいたま市が実施した関連事業は、以下のさいたま市ウェブサイトイベントレポートに掲載されている。

さいたま市ウェブサイト「大宮盆栽村開村100周年

URL:<https://www.city.saitama.lg.jp/004/005/001/005/index.html>

(令和8年7月13日確認)

1 「大宮盆栽村開村100周年記念シンポジウム」大宮盆栽展示

会 期：4月12日(土)10時～19時

4月13日(日)10時～17時

会 場：市民会館おおみや (RaiBoC Hall)

4階展示室

来場者数：944人

担 当：山川麻衣子

開催概要：

4月12日開催の「大宮盆栽村開村100周年記念シンポジウム」に合わせ、大宮盆栽村にゆかりのある盆栽(42点)を会場に展示した。



会場風景



盆栽展示

2 大宮盆栽村100周年記念「大宮盆栽村かるた」

発行日：10月1日

仕 様：箱:B6判／絵札・文字札:B8判(46セット)／説明書:B4

担 当：中村麗理

内 容：

大宮盆栽村開村100周年記念事業の一環として、当館ボランティア組織「ミュージアム・サポーター」と協力し、教育普及を目的とした「大宮盆栽村かるた」を制作した。

本事業は、令和6年11月から令和7年3月までの庭園リニューアルに伴う休館期間の取組として、「100周年に向けた記念コンテンツの制作」をテーマに実施した。

制作にあたっては、当館とミュージアム・サポーターが共同で大宮盆栽村及び盆栽文化に関する46のキーワードを選定し、サポーターが文字札の文章及び絵札のイラスト案を作成した。

絵札は、大宮盆栽村の景観や盆栽の樹種ごとの特徴を表現するとともに、親しみやすいデザインとした。また、文字札の裏面には小学生向けの解説を掲載し、遊びながら大宮盆栽村や盆栽に関する知識を学べる内容とした。

完成したかるたは、当館ミュージアムショップで販売するとともに、大宮盆栽村の開村100周年を記念する教育普及事業の一環として、さいたま市立小学校各校へ配布した。これにより、児童をはじめ幅広い世代に向けて、大宮盆栽村及び盆栽文化の魅力を発信する機会となった。



3 大宮盆栽村100周年記念 ロビーコンサート

日 時：10月18日（土）14時30分

会 場：大宮盆栽美術館 ロビー

来場者数：80人

演 奏 者：柴田晶子（口笛奏者）、
宮本由利子（オルゴール）、
長尾有紀（ピアノ）

参 加 費：無料

担 当：荒井光弘、山川麻衣子

開催概要：

公益財団法人さいたま市文化振興事業団との共同主催により、大宮盆栽村開村100周年を記念して口笛、オルゴール、ピアノによるコンサートを開催した。

曲 目：春の海、秋の童謡メドレー、
カルメンファンタジー ほか



ロビーコンサート出演者

4 夜間特別開館ライトアップ 「BONSAI CANVAS」

期 間：11月8日（土）～24日（月休）の内、
金・土・日・休日の17:00～20:00

会 場：大宮盆栽美術館敷地内

参加者数：3,559人

担 当：元木亜衣子

開催概要：

大宮盆栽村100周年記念事業の一つとして、当館で開催する盆栽村開村の歴史を振り返る特別展に合わせて夜間特別開館を実施し、ライトアップを含む次世代への盆栽文化啓発事業を行うことにより、盆栽ファンの拡大、来館促進及び次世代への盆栽文化啓発を図ることを目的とした。

主な取組として、四季をイメージしたライティングで盆栽庭園をライトアップし、1日2回（18時・19時）のスモーク演出や、盆栽の影絵を使用した特別コンテンツを実施した。また、埼玉コンピュータ&医療事務専門学校によるPR動画の製作・フォトスポットの設置や、大宮光陵高等学校による「盆栽×水彩画」作品の展示を行った。

その他の取組として、盆栽テラスでの飲食物提供（協力：盆栽レストラン大宮）、大宮駅東口・氷川神社・大宮盆栽美術館の3か所を結ぶシャトルバスの運行（11/14～16のみ）、Instagramを活用したフォトコンテストなどを行った。さらに、日中の取組として、各盆栽園開園時に「さいたま市みんなのアプリ」来園ポイントがもらえるキャンペーンを行った。



会場風景

V さいたま国際盆栽アカデミー

平成 29 年 4 月に開催された「第 8 回世界盆栽大会 in さいたま」を契機として、さいたま国際盆栽アカデミー（以下、盆栽アカデミーという）を開講している。

世界に広がる BONSAI 文化の中心地・大宮盆栽村を舞台として、国内外における盆栽文化の普及を目的に、さいたま市大宮盆栽美術館が主催する、日本初の盆栽専門の公的な学習プログラムである。盆栽に関する知識と技術を体系的に学び、盆栽に関心を持つ人や盆栽の普及に携わる人の人材育成の場になることを目指している。

令和 4 年度の日本人向けコースでは、オンライン講座の特性を活かし、初・中・上級の全コース共通で受講する共通講座を設けたが、各コースの目標と講座内容を精査し、共通講座の内、江戸園芸文化史を令和 5 年度の初級コースに、日本庭園史を令和 6 年度の中級コースに、煎茶文化史を令和 7 年度の上級コースに組み込んだ。

また、受講内容の均一化を図るとともに、季節に応じた手入れ方法を学べるよう、初級コース及び中級コースのクラス制を廃止した。中級コースでは講座内容を見直し、実技講座の素材を椿及び長寿梅に変更して実施した。上級コースは五葉松を題材に実技講座を実施した。

1 日本人向けコース

	初級コース	中級コース	上級コース
対象	一般の方	初級コースを修了した方	中級コースを修了した方
期間 時間	6 月 7 日～令和 8 年 3 月 7 日 【講義】 10:00～11:30 【実技】 9:30～11:30 ※第 2 回講座は 13:00～15:00	6 月 14 日～令和 8 年 3 月 14 日 【講義】 10:00～11:30 【実技】 9:30～11:30 ※第 2 回講座は 13:00～15:00	6 月 22 日～令和 8 年 3 月 22 日 【講義】 10:00～11:30 【実技】 9:30～11:30 ※第 2・12 回講座は 13:00～15:00
講座数	8 回	9 回	12 回
参加費	19,000 円	24,000 円	42,800 円
定員	16 人	12 人	6 人
修了者数	16 人	11 人	6 人
概要	盆栽の観賞方法や歴史、盆栽作りや培養管理等、盆栽の知識を幅広く学習することを目的に開講した。	樹形構想や針金掛け等の盆栽作りの技術と、盆栽と密接な関係がある水石等の文化についての知識向上を目的に開講した。	初級・中級コースで学んだ技術の定着と、盆栽文化を普及する人材の育成を目的に開講した。
講座内容 講師	第 1 回【講義】盆栽の鑑賞法・種類と樹形 講師：当館学芸員	第 1 回【講義】盆栽の培養管理について 講師：当館技師	第 1 回【講義】盆栽の審美眼を持つために 講師：加藤崇寿（蔓青園）
	第 2 回【実技】盆栽制作 （鹿島もみじの季節の手入れ） 講師：村田行雄（九霞園）、 日本盆栽協会インストラクター	第 2 回【実技】盆栽制作 （樹形構想・椿の針金掛け） 講師：平川大介（芙蓉園）	第 2 回【実技】盆栽制作 （樹形構想・松柏盆栽の手入れ） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
	第 3 回【講義】培養管理の基礎知識 講師：当館技師	第 3 回【実技】盆栽制作 （椿の針金外し・長寿梅の剪定） 講師：平川大介（芙蓉園）	第 3 回【講義】盆栽の魅力を伝えるために 講師：山田香織（清香園）
	第 4 回【実技】盆栽飾りの基礎知識 講師：村田行雄（九霞園）、 日本盆栽協会インストラクター	第 4 回【実技】盆栽制作 （長寿梅の針金掛け） 講師：平川大介（芙蓉園）	第 4 回【実技】盆栽制作 （剪定・ジン作り①） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
	第 5 回【講義】江戸園芸文化史 講師：椎名和美（（公社）園芸文化協会）	第 5 回【講義】大宮盆栽村について 講師：当館学芸員	第 5 回【実技】盆栽制作 （剪定・ジン作り②） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
	第 6 回【実技】盆栽制作 （鹿島もみじの季節の手入れ） 講師：村田行雄（九霞園）、 日本盆栽協会インストラクター	第 6 回【実技】盆栽制作 （長寿梅の植え替え） 講師：平川大介（芙蓉園）	第 6 回【実技】盆栽制作（針金掛け①） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
	第 7 回【講義】盆栽の歴史 講師：当館学芸員	第 7 回【講義】水石について 講師：長沢孝（日本水石協会）	第 7 回【講義】煎茶について 講師：工藤宏（NPO 法人 日本茶インストラクター協会）
	第 8 回【実技】盆栽制作 （鹿島もみじの植え替え） 講師：村田行雄（九霞園）、 日本盆栽協会インストラクター	第 8 回【講義】日本庭園史 講師：服部勉（東京農業大学）	第 8 回【実技】盆栽制作（針金掛け②） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
		第 9 回【実技】盆栽制作（椿の植え替え） 講師：平川大介（芙蓉園）	第 9 回【実技】盆栽制作（針金掛け③） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
			第 10 回【講義】盆栽文化を広げるために 講師：平尾成志（成勝園）
			第 11 回【講義】盆栽の魅力について 講師：当館職員
			第 12 回【実技】盆栽制作（植え替え・総仕上げ） 講師：木村剛（盆栽かへるで）

2 外国人向けコース (盆栽愛好者向け講座)

対 象：盆栽愛好家の外国人

参 加 費：40,000 円（1 団体）

開催概要：

訪日盆栽ツアーで来館する盆栽愛好者を主な対象とし、大宮盆栽村の各園が持つ理論と技術を学び、帰国後に実践できる人材育成を目的としたコース。

前半は、「盆栽総論」として盆栽や盆栽村の歴史についての解説を行い、後半は、各盆栽園から招いた講師による講演を行うプログラムとなっている。

なお、令和7年度は申込みがなかったため実施していない。



日本人向けコース（講義講座）



サポーターによる補助

3 担当

立石見雪、中村麗理、中村慎太、小棚明生



日本人向けコース（講義講座）



日本人向けコース（実技講座）

VI 国際交流

1 米国立盆栽・盆景園との姉妹館交流

1976年に米国建国200周年を祝し、一般社団法人日本盆栽協会から盆栽、水石の寄贈を受けて開園した同園は、令和8年に開園50周年を迎える。日本盆栽協会は、建国250周年記念と合わせ、新たに同園に盆栽および水石を寄贈することになり、令和8年3月20日から2週間程度、同園を所管する米国立樹木園リチャード・オルセン園長と盆栽・盆景園のマイケル・ジェームズ学芸員が贈呈式への出席と調査、親善のために来日した。

当館では両名の滞在期間中の調査や視察について協力し、贈呈式には当館の清水館長も出席して成功裡に滞在を終えることになった。

なお、寄贈された盆栽は贈呈式後に米国へ輸出され、現在は同園において検疫を受けているという。また、令和8年秋頃に同園において50周年記念式典を挙行するとのことである。

2 オーストラリア首都特別地域政府立 キャンベラ樹木園との姉妹館交流

キャンベラ樹木園では大宮盆栽村の開村100周年に合わせ、同園学芸員の視察を目的とした来日を検討されていたが、諸般の事情により叶わなかったため、メール等を通じた情報交流を行った。

3 その他の交流

○「Bonsai Culture Expo 2025」(11月1日(土)、2日(日))への出張

パリ市が運営するパリ花公園内には、1989年に常設の盆栽展示施設が開設されている。同公園を会場として、パリ市や日本国大使館の協賛により、2021年から外部協力者が大規模な盆栽イベント「Bonsai Culture Expo」を開催している。

令和7年度は、主催者から招待を受け、当館から中村慎太盆栽技師と田口文哉学芸員が出張した。中村技師は、同展開催前の2日間、愛好家団体の盆栽相談ワークショップ講師を務めたほか、主催者とともに国営

放送「フランス2」に出演し、イベントのPRを行った。

また、同展のメインイベントとして2日間連続で開催されたデモンストレーションの講師を務め、同園の盆栽職人が所蔵する山採りのヨーロッパ赤松を素材に大胆な改作を行い、連日多くの参加者を集めた。

田口学芸員は、大宮盆栽村開村100周年のPRブースの設置とともに、当館所蔵の浮世絵版画9点を持ち込み、同会場内の特設スペースにおいて「Bonsai en Ukiyoe浮世絵の中の盆栽」と題したミニ展覧会を開催し、観覧者への解説や質問に回答した。

浮世絵展示の人気も高く、会期終了後においても反響があったとのことで、検疫により盆栽の持ち出しは難しいからこそ、浮世絵など盆栽関連資料の展示による海外への盆栽文化の普及の在り方を検討できるように感じた。

○海外盆栽展示施設との情報交流

以下の海外盆栽展示施設の関係者、担当者との情報交流を行った。

・駐日ドミニカ共和国大使館、エドワード・アニバル・ペレス・レジェス大使の視察、2月24日(火)、同国の盆栽展示施設リリアーノ文化センターとの情報交流のため。

・パシフィック盆栽博物館(米シアトル)、アーリン・パッカード学芸員の調査滞在、2月9日(月)～13日(木)、第2次大戦期の日本の盆栽界の動向について当館所蔵資料の調査に協力。

VII 調査研究および社会貢献活動

1 執筆・寄稿・講師・出演

○菅原千華・立石見雪、「収蔵品紹介」、「研究ノート」、「展覧会情報」、「『盆栽春秋』 令和7年4月号～令和8年3月号、日本盆栽協会(寄稿)。

2 社会貢献活動

○中村慎太、糸魚川真柏保存活用計画策定委員(新潟県糸魚川市)。

○田口文哉、令和7年度さいたま市立土呂中学校学校運営協議会委員。

VIII 資料

1 購入資料

本年度は、盆器3件、絵画資料等3件、歴史・民俗資料4件の計10件を購入した。これらの資料は、令和8年3月12日に開催された、さいたま市盆栽資料等選考評価委員会を経て、当館所蔵品として承認された。

購入資料一覧

No	分類	資料名	作者等	点数	年代	寸法 (高×幅×奥行cm)
1	盆器	白交趾梅門水盤	不詳	1点	19世紀～20世紀	65×61.0×39.0
2	盆器	白交趾梅門水盤	不詳	1点	19世紀～20世紀	65×68.0×47.5
3	盆器	海鼠釉梅門水盤	不詳	1点	19世紀～20世紀	55×55.0×39.5
4	絵画資料等	懸想文虎図短冊	長谷川玉峰	1枚	近代	36.4×6.0
5	絵画資料等	掛軸「早鶯」	木島桜谷	1幅	近代	107.5×36.5 ※本紙寸
6	絵画資料等	掛軸「清風拂明月」	塩澤大定	1幅	現代	118.5×33.5 ※本紙寸
7	歴史・民俗資料	『草木奇品家雅見』	増田金太	3冊1揃	文政10年 (1827)	27.9×18.1×0.8
8	歴史・民俗資料	『萬年青図寫』	大久保幸七	1冊	明治14年 (1881)	17.5×12.4×0.8
9	歴史・民俗資料	『醉花園誌 全』	辻多輔	1冊	明治26年 (1893)	15.8×10.9×0.5
10	歴史・民俗資料	『洪水翁薦事図録』	中埜又左衛門	3冊1揃	明治27年 (1894)	18.7×11.5×0.6～ 0.8

このほかに盆栽の植え替えに使用する盆器を3点購入した。

No	分類	資料名	作者等	年代	寸法 (高×幅×奥行cm)
1	実用盆器	紫泥外縁隅入下帯長方鉢 (小)	不詳(中国)	現代	19.5×66×53.0
2		紫泥外縁隅入下帯長方鉢 (大)	不詳(中国)	現代	31.0×102.0×86.0
3		紫泥切立隅入長方鉢	不詳(中国)	現代	24.0×91.5×62.5

2 寄贈資料

寄贈資料一覧

No	分類	資料名	作者等	点数	年代	寸法 (高×幅×奥行cm)	寄贈者
1	盆栽	姫柿	山口安久	1点	不詳	120×110×110	個人
2		山査子	山口安久	1点	不詳	95×120×90	個人
3		柏黒松	山口安久	1点	不詳	112×100×85	個人
4		五葉松	不詳	1点	不詳	70×60×70	個人
5	歴史・民俗資料	清大園看板「欣々向榮」	不詳	1枚	明治22年 (1889)		個人
6		清大園看板「清大園」 「種樹花盆栽」	山岡鉄舟	1枚 (両面)	明治19年 (1886)		個人
7		盆栽陳列台(国会開会式装飾用)	不明	1対	昭和8年 (1933)頃		個人
8		書簡・葉書一括	前田賢次ほか	7通	昭和8年(1933) ～37年(1962)		個人
9		古写真一括	不詳	5通	昭和初期～ 昭和10年代		個人
10		NHK TV放送 台本「盆栽の話」	日本放送協会	1冊	昭和29年 (1954)		個人
11		清大園法被	不明	1着	明治～ 大正時代		個人
12		皁月銘鑑	大日本盆栽同好会	1枚	大正15年 (1926)		個人
13		御会葬人連名帳	不明	1冊	明治32年 (1899)		個人
14		寄せ植え盆栽図	竹山房造	1点	昭和時代		個人

3 収蔵資料利用

(1)館外貸し出し (1件)

貸出先：一般社団法人日本水石協会

目 的：同協会主催「第63回日本水石名品展」

(会期：令和8年2月14日～18日、東京都美術館)における招待出品とするため。

資 料：水石 C-034 賤機糸掛石 銘「僊境」

盆器 B-303 瑠璃釉長方水盤

卓 D-027 花梨中卓

(2)特別使用 (20件) ※撮影または原板の使用

内 訳：盆栽45点、盆器1点、絵画資料等10点、歴史・民俗資料4点

4 収蔵資料件数

収蔵資料件数一覧

分類記号	分類	令和6年度まで	令和7年度登録	計
A	盆栽	129	0	129
B	盆器	342	3	345
C	水石	69	0	69
D	卓	101	0	101
E	絵画資料等	179	3	182
F	歴史・民俗資料	96	14	110
合計		916	20	936

5 図書寄贈者一覧

朝日新聞社
 一般社団法人埼玉県造園業協会
 一般社団法人日本水石協会
 一般社団法人日本盆栽協会
 一般社団法人日本盆栽作家協会
 エスプレス・メディア出版
 太田記念美術館
 近代出版
 公益財団法人日本博物館協会
 講談社
 彩花盆栽教室 清香園
 埼玉県立自然の博物館
 さいたま文学館
 城西国際大学水田美術館
 たばこと塩の博物館
 玉川大学教育博物館
 致知出版社
 地方史研究協議会
 鉄道博物館
 東京都江戸東京博物館
 西尾市岩瀬文庫
 日本園芸協会
 日本芝草学会
 野田市郷土博物館・市民会館
 府中市郷土の森博物館
 文京区
 武蔵大学学芸員課程

IX 広報活動

1 ミュージアムレター「ジンシャリ」

発行：年間4回（季刊）

51号（4～6月）、52号（7～9月）、
53号（10～12月）、54号（令和8年1月～3月）

仕様：A4判2つ折り（A5判）

担当：中村麗理

内容：

令和6年度に刷新したA4判2つ折り（A5判）の「ミュージアムレター」を継続発行した。記事は、「展示の裏側」、「職人のしごと」、「サポーター通信」などの読み物を掲載し、来館者が展覧会だけでは知ることのできない美術館の魅力を紹介した。

また、紙媒体は館内配布とし、ホームページに掲載したウェブサイト版及びPDFファイル版と併せて情報発信を行った。

※「ジンシャリ」とは、盆栽の見どころとなる「ジン」および「シャリ」（枝や幹の一部が枯れて白く残る部位。枝をジン、幹をシャリと呼ぶ）からなる誌名。



「ジンシャリ」54号表紙

2 公式 SNS の運用

公式 Facebook 及び Instagram にて、展示中の盆栽画像の投稿や、展示・イベント情報の告知を定期的に行った。

当館 Facebook の特徴として、「いいね！」の

件数の大半を海外の閲覧者が占めていることを挙げられる。国別フォロワーの割合も、日本以外のフォロワーの割合がおよそ90%と大半を占めている。そのため、投稿にあたっては原則として日英表記としている。年代別のフォロワーの割合は、35～44歳の年代が29%と最も多く、45～54歳の年代が26%、55～64歳の年代が16%と幅広い年代での興味関心の高さが伺える。

同様に、Instagram もコメントの大半が英語であり、日本以外のフォロワーの割合がおよそ80%を占めることから、投稿にあたっては原則として日英表記としている。年代別フォロワーの割合は、35～44歳の年代が34%と最も多く、次いで45～54が26%、25～34歳の年代が20%と Facebook と比較して若い世代の興味関心が高いことが伺える。

(1) Facebook

開設日：平成25年7月25日

フォロワー数：62,433件（令和8年4月10日時点）

国別フォロワー割合：（令和8年4月10日時点）

順位	国・地域名	割合(%)
1	日本	12.5
2	台湾	8.7
3	アメリカ合衆国	7.5
4	タイ	7.2
5	ベトナム	5.5
6	インドネシア	4
7	ブラジル	4
8	マレーシア	4
9	メキシコ	3.7
10	イタリア	3.6

年代別フォロワー割合：（令和8年4月10日時点）

順位	年代	割合(%)
1	35～44歳	28.8
2	45～54歳	26.4
3	55～64歳	16.3
4	25～34歳	15.3
5	65歳以上	12.3

(2) Instagram

開設日：平成 29 年 12 月 14 日

フォロワー数：42,787件(令和8年4月10日時点)

国別フォロワー割合：（令和8年4月10日時点）

順位	国・地域名	割合(%)
1	日本	22.7
2	アメリカ合衆国	9.6
3	インドネシア	8.6
4	ブラジル	5.7
5	イタリア	3.9
6	スペイン	3.8
7	メキシコ	2.2
8	オーストラリア	2.2
9	台湾	2
10	ドイツ	2

年代別フォロワー割合：（令和8年4月10日時点）

順位	年代	割合(%)
1	35 ～ 44 歳	33.7
2	45 ～ 54 歳	25.6
3	25 ～ 34 歳	20.1
4	55 ～ 64 歳	12.5
5	65 歳以上	6.2

3 主な広報実績

取材媒体	対応実績数	主な掲載媒体（順不同）
テレビ・ラジオ	21	NHK、テレビ西日本、テレビ朝日、株式会社テレビ埼玉、TOKYO MX、NHKEテレ、テレビ朝日「クッド!モーニング」、NHKさいたま、JCOM、フジテレビ、テレビ埼玉、TBS、株式会社bend、日本テレビ放送網株式会社、株式会社テレビ埼玉
新聞	23	読売新聞社、読売新聞、毎日新聞、埼玉新聞社、朝日新聞、産経新聞、各種契約新聞社、時事通信社、日本経済新聞社、東京新聞、埼玉新聞、朝日新聞メディアプロダクション
雑誌・情報誌	17	Mom「イオンカード有料会員雑誌「mom」」、たまログ「たまログ」、株式会社近代出版「近代盆栽6月号」、武蔵野銀行「ディスクロージャー誌（株主への情報誌）」、株式会社エストール「まっふる刀剣乱舞トラベラーズガイド」、たまログ、昭文社「日帰り大人の小さな旅」、株式会社ブラックフィッシュ「マンスリーとーぶ10月号」、さいたま商工会議所「会報誌「さいBiz」11月号特集」、サンケイリビング新聞社さいたまオフィス「リビングさいたま10月31日号」（株）エスプレス・メディア出版「盆栽世界」、マガジンハウス「BRUTUS別冊ムック「通いたくなるミュージアム（仮）」」、公益社団法人国際日本語普及協会「関誌『AJALT』第49号」、昭文社「とりっぴまマガジン」、JTBパブリッシング「るるぶ」、埼玉県行政書士会「『彩りコミユナス』第28号」ボラス株式会社「暮らしの情報誌「ララボラス」春号」
ウェブサイト	17	Yahooニュース「Yahooニュース・地域情報・埼玉」、株式会社サクセスプランニング「ピタットハウス公式ホームページ 街ビタ」、マイトラベルコンサルティング、JTBパブリッシング「るるぶ&more.」、ナビタイムジャパン「NAVITIME Travel、NAVITIMEアプリ、KDDI社との協業サービス等のナビタイムジャパンが運営するサービス全般」、一般社団法人Acoreおおみや「Acoreおおみや」、TRANSIT、角川アスキー総合研究所「ひがしにはんトラベルガイド」、さいたま観光国際協会「インスタグラム、YouTube、ブログ」、一般社団法人Acoreおおみや「Acoreおおみや」、一般社団法人Acoreおおみや「Acoreおおみや66号」、Vpon JAPAN株式会社「YouTube【瓶瀬旅居日本中】」、株式会社コロロマチ「itot(あいとっと)」、関東DMO「WEBメディア「Greater TOKYO」」、おでかけ情報サイト「いこーよ」、株式会社インククラウド「じゃらんニュース」、昭文社「ことりっぴWEB」
さいたま市・行政機関（市外）	1	観光国際課
その他	8	ノーザンハートきたまち発展会「ノーザンハートきたまち春まつり2025ボスター」、株式会社ワイエムエヌ「YouTube【村雨辰剛の和暮らし】」、埼玉医大東洋医学科

合計 87 件

X ミュージアムグッズ

令和7年度に取扱いをしたミュージアムグッズは以下のとおり。（価格は税込み）

	品名	価格
図録		
1	美術コレクション名品選	800
2	錦秋 盆栽村の美と歴史 Part1	500
3	盆栽×写真vol.1 大和田良写真展「FORM-SCENERY SEEN THROUGH BONSAI-」	2,940
4	盆栽×写真vol.2糸崎公朗作品展「Kimio Itozaki Bonsai PHOTO WORKS」	1,600
5	盆栽につもる雪-「鉢木」物語の世界	1,200
6	大宮盆栽村の歴史展Ⅲ 世界のBONSAIへ 1945-1989	300
7	「第8回世界盆栽大会inさいたま」記念特別展 盆栽-さいたま発の世界ブランド 盆栽展記念帖	500
8	三代目尾上菊五郎改メ、植木屋松五郎?-千両役者は盆栽狂	1,000
9	シリーズ・現代の盆栽家I 竹山浩-自然を巡る、雑木の匠	500
10	シリーズ・現代の盆栽家II 木村正彦-あそびの領分	500
11	国風盆栽展の誕生-「美術館」を目指した昭和初期の盆栽	1,000
12	盆栽美術本 時空の美-盆栽 Beauty of Space and Time-BONSAI	2,000
13	Bonsai, Beyond the Border 海を越えた盆栽家 吉村西二-ニューヨーク、1958	500
14	シリーズ・現代の盆栽家Ⅲ 山田登美男-盆栽、美の探求	500
15	ガイドブック	500
16	〈盆栽〉の物語（日・英）	300
17	大宮盆栽村の誕生-100年のあゆみ（日・英）	300
18	煎茶と盆栽-「盆栽」の夜明け	600
19	ウキヨエ植物大図鑑-「盆栽づくし」を楽しみつくす!	1,000
20	緑のフロンティア-大宮盆栽村100年-「大宮盆栽村100周年記念特別展」	1,600
手ぬぐい		
21	日暮し	1,600
22	BONSAI	1,600
23	青龍	2,200
24	額装用日暮し	2,200
雑貨		
25	クリアファイル（日暮し）	250
26	クリアファイル（鉢植えつくし）	300
27	Tシャツ	2,400
28	絵葉書	150
29	絵葉書（大判）	200
30	ハンカチ（紺・緑）	700
31	トートバック（縦型）	1,500
32	トートバック（横型）	1,800
33	マスキングテープ	500
34	初心者向け道具セット	12,000
35	メモ帳（寿雲・思いのまま）	500
36	傘	2,000
37	ネックストラップ	1,200
38	マグネット（座敷飾り・千代乃松）	200
39	アクリルスタンド（獅子の舞）	700
40	オリジナル手提げ袋	50
41	大宮盆栽村かるた	2,000
食品		
42	大宮盆栽だー!!※館内飲食の場合は253円	248
43	サブレ（1枚）	150
44	サブレ（5枚入り）	700
45	煎餅（1枚）	150
46	煎餅（6枚入り）	900

XI 入館者数等

1 入館者数

令和7年度

(人)

	一 般	65歳以上	高大生	小中学生	年間パスポート 等利用	講座・学校・ 視察等	開館日数	1日あたりの 入館者数	合 計
4 月	4,039	2,021	119	176	202	982	26	290	7,539
5 月	5,160	2,551	236	186	227	3,316	27	432	11,676
6 月	2,342	894	118	94	183	754	23	191	4,385
7 月	2,442	693	184	130	157	1,188	26	184	4,794
8 月	2,825	483	154	37	167	1,242	27	182	4,908
9 月	2,596	798	179	104	161	836	26	180	4,674
10月	3,755	1,942	144	143	337	2,019	26	321	8,340
11月	7,098	3,098	265	363	392	2,024	26	509	13,240
12月	1,967	823	104	80	181	648	24	158	3,803
1 月	2,232	807	112	118	134	664	24	169	4,067
2 月	3,337	1,057	126	100	179	735	25	221	5,534
3 月	2,991	1,375	173	159	215	1,053	26	229	5,966
計	40,784	16,542	1,914	1,690	2,535	15,461	306	258	78,926

※年間パスポート購入時の利用は、一般、65歳以上、高大生、小中学生の区分に含む。

※「1日あたりの入館者数」の合計欄には、年間を通した1日あたりの入館者数を掲載。

(参考資料)

(人)

	一 般	65歳以上	高大生	小中学生	年間パスポート 等利用	講座・学校・ 視察等	開館日数	1日あたりの 入館者数	合 計
平成22年度	30,990	25,806	-	970	587	7,210	295	222	65,563
平成23年度	21,931	16,430	-	812	312	10,850	298	169	50,335
平成24年度	19,128	14,152	467	767	315	14,570	297	166	49,399
平成25年度	20,899	13,268	520	779	330	15,131	301	169	50,927
平成26年度	24,180	15,943	609	863	6,230	12,736	305	199	60,561
平成27年度	30,026	19,536	790	1,013	5,129	17,223	306	241	73,717
平成28年度	28,793	17,671	720	1,005	5,425	22,013	309	245	75,627
平成29年度	39,911	27,450	703	1,374	6,196	20,367	307	313	96,001
平成30年度	29,676	17,306	900	1,098	4,570	18,610	307	235	72,160
令和元年度	27,143	14,901	901	1,017	4,403	14,843	281	225	63,208
令和2年度	10,692	3,399	565	467	1,924	3,021	258	78	20,068
令和3年度	15,237	5,150	659	932	2,380	6,956	307	102	31,314
令和4年度	21,286	8,148	995	941	3,146	9,144	309	141	43,660
令和5年度	27,812	10,593	1,205	1,344	4,607	10,722	307	183	56,283
令和6年度	19,806	7,966	887	930	1,044	9,546	181	222	40,179

※開館からの累計観覧者数(～R8.3.31) 927,928

2 展覧会別入館者数(企画展・特別展)

(人)

No	名称	会場	会期	開館 日数	1日あたりの 入館者数	入館者数
1	大宮盆栽村 100 周年記念企画展 「第 34 回作家展 (日本盆栽作家協会)」	コレクションギャラリー	4月4日(金)～4月23日(水)	18	290	5,212
2	企画展「さつき盆栽展」	コレクションギャラリー	5月23日(金)～6月1日(日)	9	266	2,396
3	企画展「山水涼景～水石の世界」	コレクションギャラリー	7月18日(金)～8月27日(水)	36	184	6,640
4	企画展「夏休み子どもほんさい美術館」	企画展示室	7月19日(土)～8月31日(日)	38	185	7,011
5	企画展「盆石の流れ～伝書をたどる」	コレクションギャラリー	9月5日(金)～9月17日(水)	12	178	2,132
6	大宮盆栽村 100 周年記念特別展 「緑のフロンティアー大宮盆栽村 100 年ー」	企画展示室 コレクションギャラリー	10月3日(金)～12月10日(水)	60	382	22,934

3 外国人入館者数

令和7年度 (人)

順位	国・地域名	人数
1	アメリカ	2,916
2	オーストラリア	918
3	フランス	754
4	ドイツ	658
5	中華人民共和国	595
6	イギリス	519
7	カナダ	453
8	スペイン	391
9	イタリア	361
10	台湾	313
合計 156 ケ国・地域		11,590

令和6年度 (人)

順位	国・地域名	人数
1	アメリカ	1,285
2	オーストラリア	697
3	フランス	369
4	ドイツ	331
5	中華人民共和国	300
6	イギリス	240
7	イスラエル	181
8	インド	178
9	カナダ	177
10	台湾	169
合計 142 ケ国・地域		5,946

令和5年度 (人)

順位	国・地域名	人数
1	アメリカ	1,890
2	オーストラリア	877
3	中華人民共和国	600
4	フランス	491
5	ドイツ	456
6	イギリス	397
7	台湾	306
8	イタリア	301
9	スペイン	262
10	イスラエル	252
合計 106 ケ国・地域		8,721

4 施設利用

講座室：78 件

※ふれあい広場は大宮盆栽協同組合が通年利用し、盆栽等を販売している。

XII 条例・規則

○さいたま市大宮盆栽美術館条例

平成21年7月17日

条例第30号

改正 平成25年12月26日条例第46号

平成31年3月13日条例第2号

(設置)

第1条 盆栽に関する知識及び教養の向上を図り、盆栽文化の振興に寄与するため、さいたま市大宮盆栽美術館（以下「美術館」という。）をさいたま市北区土呂町2丁目24番地3に設置する。

(事業)

第2条 美術館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 盆栽その他の盆栽文化に関する資料（以下「盆栽資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 盆栽文化に関する調査及び研究並びにその成果の展示、出版等に関すること。
- (3) 講演会、講習会等の主催、広報の発行その他の盆栽文化に関する普及活動に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、美術館の設置の目的を達成するために必要な事業

(休館日)

第3条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 木曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日である場合を除く。）
- (2) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで

2 市長は、前項の規定にかかわらず、施設の管理運営上特に必要があると認めるときは、臨時に休館日を定め、又は休館日に開館することができる。

(開館時間等)

第4条 美術館の開館時間は、次の各号に掲げる期間に応じ、当該各号に定めるとおりとする。ただし、常設展示室、企画展示室及び盆栽庭園へ入場することができる時間は、閉館する30分前までとする。

- (1) 3月から10月までの期間 午前9時から午後4時30分まで
- (2) 前号に掲げる期間以外の期間 午前9時から午後4時まで

2 市長は、前項に規定する開館時間又は入場時間を、事情により変更することができる。

(観覧料)

第5条 美術館が展示する盆栽資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、市長は、特別の盆栽資料（美術館が所蔵しない盆栽資料であって、その展示に特別の費用を要すると市長が認めるものをいう。別表第1において同じ。）を展示するときは、別表第1に

定める額の2倍に相当する額以下の範囲内において別に観覧料の額を定めることができる。

(特別使用の許可等)

第6条 美術館が所蔵している盆栽資料について、撮影又は原板の使用(第17条第2項第3号において「特別使用」という。)をしようとする者は、規則で定めるところによりあらかじめ市長の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める特別使用料を納付しなければならない。

(施設等の利用)

第7条 企画展示室(盆栽広場を含む。以下同じ。)、講座室(盆栽テラスを含む。以下同じ。)及びこれらの施設の利用に伴う附属設備(以下「施設等」という。)は、美術館の事業に供していない期間については、美術館の設置の目的に即した利用に供することができる。

2 前項に規定する施設等及び駐車場を引き続いて利用することができる期間は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める期間とする。ただし、市長は、事情によりこれを変更することができる。

- (1) 企画展示室 15日
- (2) 講座室 7日
- (3) 附属設備 利用する企画展示室又は講座室の引き続いて利用することができる期間と同一の期間
- (4) 駐車場 1日

3 施設等を利用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

4 市長は、前項の許可(変更の許可を含む。)をする場合において、施設等の管理上必要な条件を付することができる。

5 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、施設等の利用を許可しない。

- (1) 施設等の設置の目的に反するとき。
- (2) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (3) 施設等を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (4) 物品(展示する盆栽資料に係る図録、絵はがき、ポスターその他これらに類するものを除く。)の販売を目的とするとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき又は市長が適当でないと認めるとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第8条 前条第3項に規定する利用の許可(変更の許可を含む。)を受けた者(以下「利用者」という。)は、その権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別の設備等の制限)

第9条 利用者は、施設等を利用するに当たって、特別の設備をし、又は備付けの物品以外の物品を利用する場合は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。

(利用の許可の取消し等)

第10条 市長は、利用者が次の各号のいずれかに該当するとき又は施設等の管理上特に必要があるときは、

当該許可に係る利用の条件を変更し、若しくは利用を停止し、又は当該許可を取り消すことができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。

(2) 偽りその他不正の行為により利用の許可を受けたとき。

(3) 利用の許可の条件又は関係職員の指示に従わないとき。

2 前項の措置によって利用者に損害が生じることがあっても、市は、その責めを負わない。

(使用料の納付)

第11条 利用者及び駐車場を利用しようとする者は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。

2 附属設備を利用しようとする者は、規則で定める使用料を納付しなければならない。

(入館の禁止等)

第12条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、美術館への入館を禁止し、又は退館を命じることができる。

- (1) 美術館内の秩序を乱し、若しくは他の入館者に迷惑を及ぼし、又はこれらのおそれがあるとき。
- (2) 盆栽資料又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、施設の管理上支障があるとき。

(観覧料等の減免)

第13条 市長は、必要があると認めるときは、第5条に規定する観覧料、第6条第2項に規定する特別使用料及び第11条に規定する使用料(以下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第14条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長は、特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(原状回復の義務)

第15条 利用者は、施設等の利用が終わったときは、速やかに当該施設等を原状に回復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。第10条第1項の規定により利用の停止又は許可の取消しの処分を受けたときも、同様とする。

2 利用者が、前項の規定による義務を履行しないときは、市長において原状に回復し、これに要した費用は、利用者の負担とする。

(損害賠償の義務)

第16条 故意又は過失により盆栽資料又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失した者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(指定管理者による管理)

第17条 市長は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であって市長が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に、施設の管理に関する業務のうち、次に掲

げるものを行わせることができる。

- (1) 第2条に規定する事業の実施に関すること。
- (2) 施設の維持管理に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認める業務

2 市長は、前項各号に掲げるもののほか、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- (1) 第3条第1項の規定にかかわらず、施設の管理運営上特に必要があると認めるときに、市長の承認を得て、臨時に休館日を定め、又は休館日に開館すること。
- (2) 第4条第1項の規定にかかわらず、施設の管理運営上特に必要があると認めるときに、市長の承認を得て、開館時間又は入場時間を変更すること。
- (3) 第6条第1項の規定により、特別使用を許可すること。
- (4) 第7条第2項の規定にかかわらず、施設等の管理運営上特に必要があると認めるときに、市長の承認を得て、引き続いて利用することができる期間を変更すること。
- (5) 第7条第3項の規定により、施設等の利用の許可若しくは許可に係る事項の変更の許可をすること又は同条第4項の規定により、許可に条件を付すること。
- (6) 第7条第5項の規定により、同項第1号から第4号までのいずれかに該当すると認めるとき又は施設等の管理上支障があるとき若しくは許可をすることが適当でないと認めるときに、許可をしないこと。
- (7) 第9条の規定により、特別の設備をし、又は備付けの物品以外の物品を利用する場合に許可をすること。
- (8) 第10条第1項の規定により、同項第1号若しくは第2号のいずれかに該当するとき、利用の許可の条件若しくは指定管理者の指示に従わないとき又は施設等の管理上特に必要があるときに、許可に係る利用の条件を変更し、若しくは利用を停止し、又は許可を取り消すこと。
- (9) 第12条の規定により、美術館への入館を禁止し、又は退館を命じること。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成22年3月28日から施行する。

附 則 (平成25年12月26日条例第46号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置の原則)

- 2 次項から第9項までに定めるものを除くほか、次の表の左欄に掲げる規定は、それぞれ、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の同表の右欄に掲げる行為に係る使用料、利用料金、手数料等について適用し、施行日前の同欄に掲げる行為に係る使用料、利用料金、手数料等については、なお従前の例による。

略	略
第33条の規定による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例別表第1の規定	納付
第33条の規定による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例別表第2及び別表第3の規定	利用
略	略

附 則 (平成31年3月13日条例第2号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

(使用料等に関する経過措置)

- 2 この条例（第1条、第10条から第12条まで、第15条、第16条、第17条（同条中第6条の改正に限る。）、第18条、第30条及び第51条から第53条までの規定を除く。）による改正後のそれぞれの条例の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後に行う施設の使用等に係る使用料、利用料金等（以下「使用料等」という。）で施行日以後に納付するものについて適用し、施行日前に行った施設の使用等に係る使用料等で施行日前又は施行日以後に納付するもの及び施行日以後に行う施設の使用等に係る使用料等で施行日前に納付するものについては、なお従前の例による。

別表第1（第5条関係）

(一部改正〔平成25年条例46号・31年2号〕)

区 分	観覧料 (1人1回につき)		年間観覧料 (個人に限る。)
	個人	団体 (20人以上)	
一般	310円	200円	1,040円
高校生・大学生・65歳以上	150円	100円	520円
小学生・中学生	100円	50円	310円

備考

- 1 「一般」とは、15歳以上65歳未満の者で、次項及び第3項に該当する者以外のものをいう。
- 2 「高校生・大学生」とは、高等学校、専修学校及びこれらに準ずる学校並びに大学の生徒及び学生をいう。
- 3 「小学生・中学生」とは、義務教育諸学校の児童及び生徒をいう。
- 4 「年間観覧料」とは、同一人が1年間美術館の展示する盆栽資料（特別の盆栽資料を除く。）を観覧しようとする場合の観覧料をいう。

別表第2（第6条関係）

(一部改正〔平成25年条例46号・31年2号〕)

区 分		特別使用料（1点1回につき）
撮 影	学術研究用	540円
	そ の 他	4,400円
原板使用	学術研究用	540円
	そ の 他	3,300円

備考

- 1 盆栽は、1鉢を1点とする。
- 2 盆器、掛軸及び浮世絵は、1組を1点とする。
- 3 前2項に該当する盆栽資料以外のものは、1個を1点とする。
- 4 原板には、電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録をいう。）を含む。

別表第3（第11条関係）

(一部改正〔平成25年条例46号・31年2号〕)

施設の名称		利用区分	使用料
企画展示室		1日	8,000円
講 座 室		午前 (9時から12時まで)	1,980円
		午後 (13時から閉館時間まで)	1,980円
		1日	3,960円
駐 車 場	大型車	1台(1回につき)	880円
	一般車	1台 (2時間を超える場合)	超過時間30分(30分に満たないときは、30分とする。)ごとに100円を加算して得た額に100分の110を乗じて得た額

備考

- 施設等の利用の許可に係る日のうちに休館日(搬入又は搬出のために利用する日を除く。)がある場合は、当該休館日は、使用料を徴収しない。
- 企画展示室又は講座室の利用に係る搬入又は搬出に1日(講座室にあっては、午前、午後又は1日)を要する場合における企画展示室及び講座室の使用料は、当該使用料の額に100分の70を乗じて得た額とする。
- 企画展示室又は講座室の利用者が入場料その他これに類する料金(以下「入場料」という。)を徴収する場合(規則で定める場合を除く。)の企画展示室及び講座室の使用料には、当該使用料の額に次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額を加算する。
 - 1人1回について徴収する最高の入場料が1,000円未満のとき 100分の50
 - 1人1回について徴収する最高の入場料が1,000円以上のとき 100分の100
- 「大型車」とは、道路運送車両法施行規則(昭和26年運輸省令第74号。以下「省令」という。)別表第1に掲げる普通自動車のうち、貨物の運送の用に供するもの又は人の運送の用に供する乗車定員11人以上のものをいう。
- 「一般車」とは、次に掲げるものをいう。
 - 省令別表第1に掲げる普通自動車のうち、人の運送の用に供する乗車定員10人以下のもの
 - 省令別表第1に掲げる小型自動車及び軽自動車
- 使用料を計算する場合において、使用料の額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。

○さいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則

平成22年2月10日

規則第2号

改正 平成22年6月14日規則第80号

平成24年1月6日規則第1号

平成26年2月3日規則第16号

平成30年3月29日規則第47号

平成31年4月26日規則第58号

令和2年5月28日規則第80号

令和3年3月31日規則第32号

(趣旨)

第1条 この規則は、さいたま市大宮盆栽美術館条例(平成21年さいたま市条例第30号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(観覧券の交付等)

第2条 市長は、条例第5条第1項の規定により観覧料

(年間観覧料を除く。以下この項において同じ。)を納付した者に対し、観覧券を交付する。ただし、電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。)の方法により観覧料が納付されたことを確認した場合は、この限りでない。

- 市長は、条例第5条第2項に規定する観覧料の額を納付した者に対し、特別の観覧券を交付する。
- 市長は、条例第5条第1項の規定により年間観覧料を納付した者(以下「年間観覧者」という。)に対し、年間観覧券を交付する。
- 年間観覧券の有効期間は、交付の日から起算して1年とする。
- 年間観覧者は、美術館が展示する盆栽資料(条例第5条第2項に規定する特別の盆栽資料を除く。)を観覧しようとするときは、有効な年間観覧券を提示しなければならない。
- 美術館が1月以上休館する場合において、当該休館期間の開始日が年間観覧券の有効期間内に存するときは、当該休館期間(その期間に1月未満の端数がある場合には、これを1月とする。)に相当する期間を、年間観覧券の有効期間に加えるものとする。

(一部改正〔平成30年規則47号・令和2年80号〕)

(特別使用手続)

第3条 条例第6条第1項の規定により特別使用の許可を受けようとする者は、あらかじめ、特別使用許可申請書(様式第1号)を市長に提出しなければならない。

- 条例第6条第1項の許可(以下「特別使用許可」という。)は、特別使用許可書兼領収書(様式第2号)を交付して行う。
- 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、特別使用を許可しない。
 - 美術館の設置の目的に寄与すると認められないとき。
 - 盆栽資料の保存に影響を及ぼすおそれがあるとき。
 - 盆栽資料を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
 - 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
 - 前各号に掲げるもののほか、特別使用をすることが適当でないと認めるとき。

4 市長は、特別使用許可をする場合において、必要な条件を付することができる。

5 特別使用許可を受けた者は、第2項の規定による特別使用許可書の交付と引換えに特別使用料を納付しなければならない。

(施設等の利用)

第4条 条例第7条第1項の規定による施設等の利用に係る搬入又は搬出については、条例第3条第1項第1号の規定にかかわらず、木曜日に行うことができる。

(施設等利用手続)

第5条 条例第7条第3項の規定による施設等の利用の許可又は許可に係る事項の変更の許可(以下「施設等

の利用許可等」という。)を受けようとする者は、次の各号に掲げる場合に依り、当該各号に定める書類を市長に提出しなければならない。

(1) 利用の許可を受けようとする場合 利用許可申請書(様式第3号)

(2) 許可に係る事項の変更の許可を受けようとする場合 利用変更許可申請書(様式第4号)

2 駐車場及び音声ガイド機器の利用の手続については、市長が別に定める。

(一部改正〔平成24年規則1号〕)

(利用の許可)

第6条 施設等の利用許可等は、次の各号に掲げる区分に依り、当該各号に定める書類を交付して行う。

(1) 利用の許可 利用許可書兼領収書(様式第5号)

(2) 許可に係る事項の変更の許可 利用変更許可書兼領収書(様式第6号)

(使用料の納付)

第7条 施設等の利用許可等を受けた者(以下「利用者」という。)は、前条各号に定める書類の交付と引換えに使用料を納付しなければならない。

(附属設備の使用料)

第8条 条例第11条第2項に規定する規則で定める使用料は、別表に定めるとおりとする。

(観覧料等の減免)

第9条 条例第13条の規定により観覧料等を減額し、又は免除する場合及びその割合は、次のとおりとする。

(1) 教育課程に基づく学習活動として学生、生徒又は児童及びその引率者が利用する場合 100分の100

(2) 市又は市教育委員会が主催する事業に利用する場合 100分の100

(3) 埼玉県又は埼玉県教育委員会が主催する事業に利用する場合 100分の100

(4) 前3号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める場合 市長が相当と認める割合

2 前項の規定により観覧料等の減額又は免除を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料等減額(免除)申請書(様式第7号)を市長に提出しなければならない。ただし、市長が提出を要しないと認めた者については、口頭で申請することができる。

3 市長は、前項の規定による申請を適当と認めるときは、観覧料等減額(免除)承認書(様式第8号)を交付してこれを承認する。この場合において、前項ただし書の規定による申請があったときは、当該書面の交付を省略することができる。

4 市長は、第1項に規定するもののほか、年間観覧者が有効な年間観覧券を提示して条例第5条第2項に規定する特別の盆栽資料を観覧しようとするときは、同項に規定する市長が別に定める観覧料から観覧料(年間観覧料を除く。)に相当する額を減額するものとする。

(一部改正〔平成22年規則80号〕)

(使用料の還付)

第10条 条例第14条ただし書の規定により、施設等の使用料を還付する場合及びその割合は、次のとおりとする。

(1) 施設の管理上特に必要があるため、市長が施設等の利用許可等を取り消した場合 100分の100

(2) 利用者の責めに帰することができない理由により、施設等を利用することができない場合 市長が相当と認める割合

(使用料加算額の特例)

第11条 条例別表第3備考第3項に規定する規則で定める場合は、次に掲げる場合とする。

(1) 市又は市教育委員会が主催して行う事業で入場料その他これに類する料金を徴収する場合

(2) 埼玉県又は埼玉県教育委員会が主催して行う事業で入場料その他これに類する料金を徴収する場合

(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める場合

(図録等の販売の承認)

第12条 利用者が、許可を受けた施設等を利用する場合において、展示する盆栽資料に係る図録、絵はがき、ポスターその他これらに類するものを販売しようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。

(管理上の立入り)

第13条 市長は、施設の管理上必要があると認めるときは、施設等の維持のため利用されている施設に係る職員を立ち入らせることができる。

(遵守事項及び市長の指示)

第14条 市長は、美術館の入館者の遵守事項を定め、かつ、施設の管理上必要があると認めるときは、入館者に対し、その都度指示することができる。

(盆栽資料の館外貸出し)

第15条 市長は、他の美術館その他市長が適当と認めるものに対し、美術館が所蔵している盆栽資料の貸出しをすることができる。

2 前項の規定による貸出し(以下「館外貸出し」という。)を受けようとする者は、あらかじめ館外貸出許可申請書(様式第9号)を市長に提出し、許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

3 前項の許可(変更の許可を含む。)は、館外貸出許可書(様式第10号)を交付して行う。

4 館外貸出しの期間は、60日以内とする。ただし、市長は、必要があると認めるときは、これを延長することができる。

(寄贈及び寄託)

第16条 市長は、盆栽資料の寄贈(以下「寄贈」という。)及び盆栽以外の盆栽資料の寄託(以下「寄託」という。)を受けることができる。

2 寄贈又は寄託をしようとする者は、寄贈にあつては寄贈申請書(様式第11号)を、寄託にあつては寄託

申請書（様式第12号）を市長に提出するものとする。
3 市長は、寄贈又は寄託を受けることを決定したときは、前項の規定により申請をした者に対し、寄贈にあつては受領書（様式第13号）を、寄託にあつては受託書（様式第14号）を交付する。

4 寄託を受けた盆栽以外の盆栽資料（次項において「寄託品」という。）は、美術館が所蔵する盆栽資料と同様の取扱いをするものとする。ただし、その館外貸出しについては、寄託をした者の承認を得なければならない。

5 市長は、寄託品に災害その他の不可抗力による損害があつたときは、その責めを負わない。

（指定管理者に関する読替え）

第17条 条例第17条の規定により指定管理者が施設の管理に関する業務を行う場合についての第2条第1項から第3項まで、第3条第3項から第5項まで、第5条第1項、第7条、第9条第2項、第10条第1号、第13条並びに第14条の規定の適用については、これらの規定中「市長」とあるのは「指定管理者」とする。（その他）

第18条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成22年3月28日から施行する。

附 則（平成22年6月14日規則第80号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成24年1月6日規則第1号）

この規則は、平成24年1月13日から施行する。

附 則（平成26年2月3日規則第16号）

（施行期日）

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則別表の規定は、この規則の施行の日以後の利用に係る使用料について適用し、同日前の利用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成30年3月29日規則第47号）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年4月26日規則第58号）

（施行期日）

1 この規則は、平成31年10月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則別表の規定は、この規則の施行の日（以下「施行日」という。）以後の附属設備の利用に係る使用料で施行日以後に納付するものについて適用し、施行日前の附属設備の利用に係る使用料で施行日前又は施行日以後に納付するもの及び施行日以後の附属設備の利用に係る使用料で施行日前に納付するものについては、なお従前の例による。

附 則（令和2年5月28日規則第80号）

（施行期日等）

1 この規則は、公布の日から施行し、この規則による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則第2条第6項の規定は、令和2年3月2日（以下「適用日」という。）から適用する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則第2条第6項の規定は、適用日以後に有効期間が満了する年間観覧券について適用し、適用日前に有効期間が満了した年間観覧券については、なお従前の例による。

附 則（令和3年3月31日規則第32号）

（施行期日）

1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定により作成されている様式については、当分の間、使用することができる。

別表（第8条関係）

（一部改正〔平成24年規則1号・26年16号〕）

1 企画展示室の附属設備の使用料

附属設備の名称	単位	使用料（1日につき）	備考
スポットライト	1台	50円	
AV装置	1式	2,780円	

2 講座室の附属設備の使用料

附属設備の名称	単位	使用料（1回につき）	備考
移動展示パネル	1台	50円	
拡声装置	1式	590円	CDプレーヤー、カセットプレーヤー及びマイクを含む。

3 その他の附属設備の使用料

附属設備の名称	単位	使用料（1回につき）	備考
音声ガイド機器	1台	310円	
DLPプロジェクター	1式	1,040円	アジャスターテーブルを含む。
移動式スクリーン	1台	200円	
持込み電気器具用電源	1キロワット	100円	単位は、持込み器具1台につき表示された消費電力による。1キロワットに満たない場合は、1キロワットとする。

備考 この表による使用料は、条例別表第3に規定する使用料の利用区分に従い、同表の午前又は午後の利用をもって1回、同表の1日の利用をもって2回として計算する。ただし、企画展示室の附属設備の使用料は1日の利用を1回として計算する。

様式 略

さいたま市規則56号

さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会規則

（趣旨）

第1条 この規則は、さいたま市附属機関の設置等に関する条例（平成26年さいたま市条例第2号）第6条の規定に基づき、さいたま市大宮盆栽美術館運営委員

会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（委員長及び副委員長）

第2条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第3条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 会議の議長は、委員長をもって充てる。

3 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

4 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者に対し、出席を求めて説明若しくは意見を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

（会議の公開）

第4条 委員会の会議は、公開とする。ただし、出席した委員の過半数の同意を得たときは、公開しないことができる。

（庶務）

第5条 委員会の庶務は、スポーツ文化局において処理する。

（一部改正〔平成27年規則36号〕）

（委任）

第6条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月20日規則第36号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

さいたま市条例26号

さいたま市盆栽資料等選考評価委員会条例

（設置）

第1条 市長の諮問に応じ、大宮盆栽美術館に収蔵する盆栽その他美術品等（以下「盆栽資料等」という。）の収集に係る選考及び評価に関し必要な事項について調査審議するため、さいたま市盆栽資料等選考評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（組織）

第2条 委員会は、委員6人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験を有する者のうちから、市長が委嘱する。

（任期）

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（臨時委員）

第4条 委員会に、盆栽資料等の収集に係る選考及び評価に当たって特別の事項を調査審議させるため、臨時委員を置くことができる。

2 臨時委員は、学識経験を有する者のうちから、市長が委嘱する。

3 臨時委員の任期は、特別の事項に関する調査審議が終了するまでとする。

（委員長）

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

（会議）

第6条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 会議の議長は、委員長をもって充てる。

3 委員会は、委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

4 委員会の議事は、出席した委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 委員長が必要と認めるときは、委員及び議事に関係のある臨時委員以外の者に対し、出席を求めて説明若しくは意見を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

6 選考又は評価の対象となる盆栽資料等に係る直接の利害関係を有する委員及び議事に関係のある臨時委員は、その会議に参加することができない。

（会議の公開）

第7条 会議は、公開とする。ただし、盆栽資料等の選考及び評価に係る審議の手続は、公開しない。

（守秘義務）

第8条 委員会の委員及び臨時委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

（庶務）

第9条 委員会の庶務は、スポーツ文化局において処理する。

（委任）

第10条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

さいたま市大宮盆栽美術館 年報 第16号

発 行 日 令和8年（2026）8月27日
編集・発行 さいたま市大宮盆栽美術館
〒331-0804 さいたま市北区土呂町 2-24-3
電 話 048-780-2091
FAX 048-668-2323
印 刷 株式会社 エビス

本冊子は、100部発行し、1部あたりの印刷経費は3,135円です。

